從來全~無經驗

これから精々勉強したい

理事務に

またもや静臓問題の形式に墜根を訪れるさいも、暗縁を電通り宇宙隆根、再燃してゐるが十二日労減國所津

宇垣陸相記者に語る

黨部回復

民政府施政が針さ

蔣介石氏五項目を發表

る財政を整

【上海十二日發電通】國民政府發 が算閣議には

出席可能と思ふ 我輩は豫告なしに鮮める

意見聽取地方諸問題

情報をなすは概念に戦力との上巨戦のつ、ある妖態に戦力との上巨戦の 図像を背景込んである外ドイツ図 ンス郷においてはドイツが巨酸の ンス郷においてはドイツが巨酸の

職体約は十二日正式に顕明された 冒トルコ政府より豪爽された 土通商條約 十二日正式調印發表

米價を一俵金十圓に換算し

北海道一農村で沖

小で公課を納る

北京十二日数電通 編に山西軍より封飾された河北省繁都、北京 市繁部は本日張學良氏より予忠學 氏発で郎日都市繁都の回復を離り 氏発で郎日都市繁都の回復を離り 氏を乗ふべしこの電命あり明日

世界的不況原因 米佛 イツの滿蒙鐵道投資は疑問

に投資する餘裕なもなず傳へら続つてドイツの処きは一層財政後つてドイツの処きは一層財政投資する考へはないものさ思ふ 駐佛日銀代表齋藤氏の歸朝談 及ばない『ハルピン特信』 作款に應するここは殆ど組織も

百萬郡の僧跡をなし苦廳を墹抜け の下に順際銀行壓より一億二千五 の下に順際銀行壓より一億二千五 の下に開除銀行壓より一億二千五 の下に開除銀行壓より一億二千五 の下に開除銀行車がある條件 獨の借欵を拒絕 **帰國側回收難を豫想** はこしてはたドイツの財政師への主きしてはたドイツの財政師への主要にドイツが感覚金の支援にかってドイツが感覚金の支援におっているが、なの事態にかってドイツが感覚金の支援にあるが変を取るや又イギリスそのの関係大震緩行加速圏が知何ない。 申込には聴ぜの模様で、フランス

満鐵理事部長の 廣汎なる先決權 近く重役會議で決定

し同時に「概定定数な 事が就は大き決定してあるので人 感師のようを 事がまる分散して實質を重ねるが、新職師の特異誌にる理事部長や次長の 無が大々分散して實質を重ふここでなってある。 事が大々分散して實質を重ふここでなってあるもので露際職態で正 はってるるもので露際職態で正 でなってるるもので露際職態で正

ものや社外から

滿鐵沿線の

奉天派の意思表示

年五和昭

反蔣派和平通電と

今から二十年も前の話なんです

なぞもY君さ一郷にその家に居 勝介不君、考試院長の郷天代君 勝介不君、考試院長の郷天代君 の国民政府主席さして時めく

したのは海夢岩さいふ人であるこれらの南洲革命運動の手引を

る。そこを中心に若い革命屋は 霧島町のある家においたのであ

R上、蔣、戴なぞの若手を大連 の時分のここで、それらの関

つい焼達てのこさ、北京のある

山西派の貨権を握るべき人なの

在(滿蠟理事)には御恩になり

燈の如く踵るものである。現在

0

、谷婆路にたづさわつて居ってゐるこれらの人々は西。

わつて居

した。どうして居られます。

中心さして、満洲戦命を問題し中心さして、満洲戦命を問題し

の前で、失敗を報いて、

の久限の百萬元を世話したのも常銀の大塚神事は、これちの人端銀の大塚神事は、これちの人

で 整介石なぞこさ、やいたものちやないか。 要似しる」

時分、大連端島町の一角に

仇はその孫女の命

満洲革命は張作線の頭張りでどめるのである。

あさなかった。

昔は可成り過激派だったこさも

日から文さんらはそれに頼なゆ

これも二た昔の夢ですれ」

(刊日)

9 日三十月十

連店商廉白大

走

本文内臓の機元たる蔣介石氏も個人獨裁の責を負ひ下野すべきであるさの意味を含めたの態の機元たる蔣介石氏も個人獨裁の責を負ひ下野すべきであるさの意味を含めた内臓の機元たる蔣介石氏も個人獨裁の責を負ひ下野すべきであるさの意味を含めた可能を設定して和平態現後膨、圧、膨三氏共難低を摂ふて下野するさであが同時に今年事業後患能を公平に解決して和平態現後膨、圧、膨三氏共難低を摂ふて下野するさであが同時に今年事業後患能を公平に解決して和平態現後膨、圧、膨三氏共難低を摂ふて下野するさであが同時に今年を移り、

るべき事實で和平會議開催は撃天派も賛成してゐるので北方派の希望通り北京に関かれるであらうさ 和平會議は北京で「北京十二日養電頭」職、顧酬が、欧 國民政府施政方針

時局解決上注目さる 管倉機は十月十一日を以て終了もたが倉脚短き体め地が保護を製造された。 できの間に充分協議を重り得なかったのを要の問題に関し内容に関しるの間に充分協議を重り得なかったのを要の問題に関して終了もできる。 大田地方局長等を挑戦し谷地方局長等を挑戦し谷地方局長等を挑戦し谷地方局長等を挑戦し谷地方局長等を挑戦し谷地方局長等を挑戦し谷地方局長等を指数し谷地方局長等を指数し谷地方局長等を指数し谷地方局長等を指数して終了も、大学を表表している。 これでは、大学を表表している。 これでは、大学を表表している。 これている。 これでは、大学を表表している。 これでは、大学を表表している。 これでは、大学の関係を表表している。 これでは、大学の関係を表表している。 これでは、大学の関係を表表している。 これでは、大学の関係を表表している。 これでは、大学の関係を表表している。 これでは、大学の関係を表表している。 これでは、大学の関係を表表している。 これでは、大学の関係を表表している。 これでは、大学の関係を表表している。 これでは、 こ だ長官等と配談右問題に関する希 繁が事績を詰めかけ安塗内様は大 繁が事績を詰めかけ安塗内様は大 では一人々も引見し今冬の府縣 勢及び來年施行される府縣 奥地へ水産物の 販路擴張が必要 大連革命を話 で、は第二幹命の直後、「東美 がそれは第二幹命の直後、「「東美 がそれば第二幹命の直後、「「東美 ですが がそれば第二幹命の直後、「「大事 ですが ですが でするでせうが

會議員機成選につき種々情勢を職長さは一時間学に取って懸談午

羅する西部日本水産大會第三回大 心さする水産業の改良簽業を能る関東州、業産、朝鮮西部日本な郷 郷海、黄海、玄海及び日本海な中 小濱漁政課長語る

内地からの進出非難當らず

理驛の新築案 けふ重役會議に附議

著へられませんれ 関税を上げるからさいつてすぐ

市社會課長

長濱氏

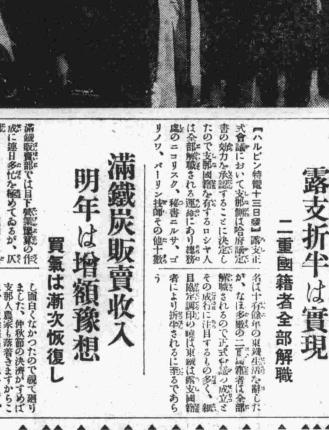
あす正式發表

でゐるものさも観測されてゐる

模様である

卸賣市場問題 意見交換 市長關東廳訪問 大戦時代の臨時手能であって職工。大戦時代の臨時手能であったも手をつけるのは歐洲 には及ばれて。 大人 十四日(北の風)船後暗 ON NO

が。 ・ 大那では警後會議を北京に開き ・ 大那では警後會議を北京に開き ・ 大部では警後會議を北京に開き ・ 大部では警後會議を北京に開き ・ 大部では警後會議を北京に開き ・ 大部では警後會議を北京に開き ・ 大部では警後會議を北京に開き 通り一遍の地方官會議に勝ること
にいいいでいまれるは、 能で賣 一。切 皮。健。健 健 一、の 膚 む 康: 一、良 病 一 美 。 のでん 水虫 しつ てき ¥1.00 4.90 ¥.30

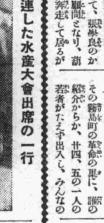


滿鐵炭販賣收入 明年は増額豫想 買氣は漸次恢復し ましたし、矢張り銀安なり一般 本子等南端は相當の成績ですが 優別、ストープ等 用先は鍋釜、農具、ストープ等 ましたし、矢張り銀安なり一般

次いで内地電報が傳へてゐる戦闘 大 小

を無残した遅く推するは帰目だった無残の職情だからさて何らか秘策を動機がからさて何らか秘策 ▲ 販本致五郎氏(沖縄参手) 同上 ▲ 高木陸郎氏(中日實業副總裁) 同上 名 宇治茶行動實質學校生徒三十名 宇治茶行動質質學校生徒三十





口

那さの中立地際さして共同の平に整命を聴し、満洲を日本さ支に整命を聴し、満洲を日本さ支

して、張學良のか

問こなり、前

です……新島町時代を思い出す

らざんな感慨に入るであらう るが、こんなこさな思ひ出了

露亞經濟叢書

●御年寄方は日く

面白い中に良い事が

無病、息災、延命、長神

中中的人工作

でを全てるものが多い、黒神から 人らは遠くシャリーから緩々沿海 州黒龍州に出て露支國際に近く選 ・ 一人のは遠くシャリーから緩々沿海 は、シャリーから緩々沿海 は、シャリーから緩々沿海 は、カーカーのが多い、黒神から 國外逃亡者激增

シャ農民の よび猶太人が多いさ

次長の職務も決定される管 の報道によるこ九月中野県から を を のさへある、本年の総沢期にはい のさへある、本年の総沢期にはい のは のなる。本年の総沢期にはい 村から來るロシャ師化のドイツおその大部分はオクチャプリスカヤ

東鐵從業員數 脱橋を見るべく全部で百巻の大野。 満線調査縣ロシア經濟議書は既に 八十巻を完成したので近く全部の アガラ 全部の 大野 である ロシア經濟議書は既に 近く脱稿

本 所野ぶ之助氏(航突會社長) 十 本 小畑殿三郎氏(同連航課長) 同上 本 小畑殿三郎氏(同連航課長) 同上 ・ 同野ぶ之助氏(航突會社長) 十

一十三日入藩天襴丸にて造氏(宮之下富士屋ホテ

長治氏(奉天ヤマトホテル 真代不朽の全集 面白い 全十二巻・一川一 最寄書店に御里込下さ

さいへば、膨動山なきあさは、 さいへば、膨動しなきのものを動態者を があらず、今山画で飛ぶらる、 でいへば、 膨動山なきあさは、 さいへば、 膨動山なきあさは、 それる 九時田中市長は赴旅園東郷さ稀され、 おいかのでは、 大き田中市長は北京の地の大学の十三日 日滿聯絡會議

第九吨日海戦総 (新雄、新國歌歌歌歌は十二日二十時 三十分養殖軍で衆連もた、め十三 において大阪歌歌歌歌は十二日二十時 において大阪歌歌歌歌を加へ日本郷 で打っ合せな際歌歌歌は十二日二十時 三十分養殖軍で衆連もた、め十三 において大阪歌歌歌歌は十二日二十時 三十分養殖軍で衆連もた、め十三 において大阪歌歌歌歌は十二日二十時 では、新國歌歌歌歌は十三日二十時 では、新田本郷。 では、「大阪歌歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌」といい。 「大阪歌歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌」といい。 「は、「大阪歌歌」といい。 「は、「大阪歌」といい。 「は、「大阪歌」といい。 「は、「大阪歌」といい。 「は、「大阪歌」といい。 「大阪歌歌」といい。 「は、「大阪歌」といい。 「は、「大阪歌」といい。 「大阪歌」といい。 「大阪歌」といい、 「大阪歌」といい。 「大阪歌」といい、 「大阪、 「大阪歌」といい、 「大阪歌」といい、 「大阪、 下打合せ

●御主人鬼様日く この全集神む人は楽しく この全集神む人は楽しく この全集神むる家は定える 八格が磨け、出世が出來る 八格が磨け、出世が出來る

愉快な全集

下か響乗する事さなつた、又大会 場に於て繋げるる。全日本経道歌 場に於て繋げるる。全日本経道歌 場に於て繋げるる。全日本経道歌 場に於て繋げるる。全日本経道歌 である。

さ大連小學校聯合競技會で

排日派の米人巨頭連

新平さんを語る

(D)

一十二會議の往復

その際受けたる形象の一端

の中に於て後藤伯が特に登

一話は變る一が後藤低は外

人の職格風彩の

西子夫人こそ我が大衆作家さしてが十三日入藩のうらです7 リー が十三日入港のうらる丸で來た、 洋裝の美しく似合ふ野尻酉子夫人

氏夫人「大佛さんからの御手紙で第一人者の名を擅にする大佛文郎

あって來られたんですか?」さ

一排日派の一旦頭連が使のホテルに着くや數名の

続て大橋の外人に送して像風堂々 られて居ったが、ひさり後藤伯に りなりを藤伯に

外國人の

お客に限る

ホテル業の元祖 山口正造氏來連

日程

山探勝團募集

主催 ジャパン・ツーリストビューロ 大人六圓五十銭 小兒四圓十銭 小兄四圓十銭 小兒四圓十銭 小兒四圓十銭 小兒四圓十銭

に努められんことをお眺め致します 人體にも油をさして、健康能率の増進 元氣健康を増進致します

どうで時々

内臓諸機関の運動を促進するのでコ

體内の毒素を速やかに排泄して

りを和らげ痛みを消し 疲れを癒して

かを向けることでホテルに泊らうこ思っていえ便りながしますり、それに御門だか押かけ女房に満洲まで來で様な気がしますり、それに御常人の大佛は恰度ハルピンに行常人の大佛は恰度ハルピンに行ってゐる留守ださうで、まち歸れるまでホテルに泊らうこ思って、まちないかけることでホテルに泊らうこ思って、

表代電話改番 五

機械の運転に油が必要である様に

1

『妙布』があります『妙布』の作用は

體内職機關の活動を関滑にするものに

血液の循環をよくして新陳生謝を迅速

る(写真は酉子さん)
る(写真は酉子さん) 叱られて悲觀 少女の自殺

許婚の男を嫌ひ

から教へ

版客課話五五五四・四七一三

樯

肩腰のコリ 5 5 神のできる 脚骨をの振れのコリ 邊渡堂庫

引立被下度奉願上候以て一段の飛躍を試み度候間何卒御後援御御客樣本意の奉仕設備を完成一層の努力を御客様本意の奉仕設備を完成一層の努力を 移轉御披露

新店舗大連市連鎖商店街銀座通 丁子屋洋服店

電話園六六二七番

お酒の御

製造元

金元酒店

電話二一七一四番

二葉町四ノ四四

高 ピロロ領 田田 金五 金五 金五 金四四 (期日十月三十一日迄) 十 五 五

金十 圓(時價六十

等六女走山跳 一等後原(日)三米

フィールドの部

でこれらな合せるさ関庫に続められ、本年は紫に事代が増加してる ので環境外の関連収入の増大な

活

カ新荷着海紫体ワ

大佛さんの

後を追ひ

けふうらる丸で 酉子夫人來連

理

八、二着一色(朝)▲一着玉塚 が東京聯着の際、一元男百米 一着松本(南)十三秒 十一時十六分米郎(東)三着中山(春)

支那官憲の 共産黨の迫害 間島在住の内鮮各團體の叫び

さ一緒に來たもので、京奉線に 生一緒に來たもので、京奉線に 強されたホテル業者の 解されたホテル業者の

ころは昔から外人客のみなあつころは昔から外人客のみなった。 気奉線に まって北京、天津を纏つて來連 しましたこちらのホテルの感じ てあるのは嘘のホテルでせられ てあるのは嘘のホテルでせられ であるのは嘘のホテルでせられ ころは昔から外人客のみなあつ

金を撒いて質はれば何に

十三日入港の天潮丸で日本におけ るホテル製の元融さらいふべき宮 ノ下富士屋ホテルの山口正造氏が 北京扶桑館支配人代容秀氏、零天 ヤマトホテル支配人内方院治氏さ

『四島村野十二日韓』 龍州村に於いたみた、 兵龍井にある支那年齢の 25 が野祭作器像事ける女那年齢の 25 が野祭作器像事ける女那年齢の 25 が野祭作器像事ける女形年齢の 25 が野祭作器像事ける女形年齢の 25 が野祭作器像事ける女形年齢の 25 が野祭作器像事ける女形年齢の 25 が野祭作器像事ける女形年齢の 25 が野祭作器を表しているが、 15 が野祭作器を表している。 する一方外務省の 地震に関むわが同 近常に関むわが同

三峰に集結中の第

新りられてゐる、しかしてこれが不正 金額は實に一手萬國以上に達して いりこれにより撥取する別金で続

金額は、既に選収されて

ので結婚を纏つて最近常に友人を いびごく叱責されたのを悲観しな気は、 いばし外出するので顔固な父親よ

心出な

領事館葬

「映懐電報を類番 同胞を飲底能に救 の野道:共産業の

民)の不安はます/ 薬ってなり 特別の 谷地に ある鮮人 (主に農 特別の 谷地に ある鮮人 (主に農 が外の 谷地に ある鮮人 (主に農 が) ないしてなり なほ事他の強戦 響にする抗議の

ンでも五十五萬國に上つてゐるの おの始末に及んだもので かのでというです。 りひごく叱責されたのな 滿蒙や支那

禁制品事件 本邦寫遺界において既然國産品の 富貴材料の宣傳 懸賞撮影會まで開催

公判に附された

平前中の記録左の妲し 下前中の記録左の妲し

トラツクの部

大連小學校兒童總出で賑つた

**雨十一時二十分午前中の競技を終** と題級の生徒また熟狂、かくて午

梨本宮殿下を

總裁に奉戴

全日本柔道選手權大會

視察の

今年既に五十八件

登場人物百四十名に達す

全集の横綱 みならず國産部 日 主画 (1) に 中語 (1) に てるて最早単なる娯樂の域を越てるでに代的科學の尖貌を以つてえて近代的科學の尖貌を以つても関素品の装飾が必要であるで見が私の社では

全滿洲寫眞師 聯合會生まる

露披轉移爲

を配を開る機関さして全帯洲線は ・ 製・酸を配る機関さして全帯洲線は ・ 製・取を配きる機関さして全帯洲線は ・ では、 、 では、 所の研究ミ斯業界の向上、通洲の黥旗同業者が根謀り

たものまで含まれ ものまで含まれ を変素や楽歌

ルピンにおいて駆賞撮影會を能す 事さなり大連同好者間に評判になりてなるもので木村地事に勝る 今度は色々お世話になりに來ま した、寫真斯は予Pをうなもこと

尚各品共二十五圓より 御註文に應じます

圓(時價七十五圓) 圓(時價七十圓)

では有田の御前・私の

一概のこの盃、

然でもこに反抗は出来なかった。 か何に優れた音樂彩、此の意味 か何に優れた音樂彩、此の意味

◎福運者には拾圓が営

れて、のめりさうな恰好をしてるりと嫌が前へ腕に埋まりさうに垂

、 勝者はまだ、これしきの

ŀ

ウピン氏

新客死

は戦に日本人の配のみではなかった。 は戦に日本人の配のみではなかった。 ではないて、無の群な感を催したの。 が多かつた。彼の優秀な技巧さ ではないて、無の群な感を催したの。 は戦に日本人の配のみではなかった。 は戦に日本人の配のみではなかった。 は戦に日本人の配のみではなかった。 は戦に日本人の配のみではなかった。 は戦に日本人の配のみではなかった。 は、絶にないた。 は、絶にないた。 に関係をしたが、。 純粋の報な感を催じたの。 は、 に関係をしたが、。 ・ に関係をしたが、 ・ に関係をしたが、 ・ に関係をしたが、 ・ に関いて、 にないて、 にないてはないて、 にないて、 にないてはないて、 にないて、 にない、 にない、 にない、 にないて、 にないて、 にないて、 にないて、 にないて、 にないて、 にないて、

ではも失敗し、アメリカ音樂代戦の に横しい氣がするさは像班しなかつた。さ 「勝楽の客外、薬やりななもでの に横しい氣がする。 に横しい氣がする。 に横しい氣がする。 に横しい氣がする。 に横しい氣がする。

これしきの

去る一日新聞職合通信によって

ゝゝ、お口程になく、

ささは、今夜、始めて知りました 意地も手襲ふ自寨線味から膨さま 恋をお相手の灣合戦。ごんな球み があらうさも、総に積んだお際な みんな飲み湿しても、決して酔ふ みんな飲み湿しても、決して酔ふ

で自分でこんなにまで酒が飲めやた?誰がしたことてござんすり程

に、今夜、ごなた塗がなされまし

れ、この通り充分に酩酊

特代までの恥辱ではござんせい

でも明し上げるより外はこさんせ にくれであるさは始めて知つた一だくれであるさは始めて知つたー

「恥も、外職もないわ。聞きしにか?」

日

载

「また糖者へ?、 さう矢 のでござん

でごさしす。殿が四人が好一人のでう?総屋さま。いよく一杯の棚でう?総屋さま。いよく一杯の棚 お三人さも殿族の際に、

色でと演藝 前人氣旺な 浪曲米若

東洋の後去 獨逸ウーフア社特作品十巻、ウオルコフ監を非なセツトによつて映画化ご第四、五巻は美とい天然色で飾らなずなセツトによって映画化ご第四、五巻は美とい天然色で飾られてゐる〈帝國館上映〉

▲安那劇 (捉放曹)連東俱樂部々 本夫鳴澤松岩、三味線竹本曦次 太夫鳴澤松岩、三味線竹本曦次 太夫鳴澤松岩、三味線竹本曦次 大夫鳴澤松岩、三味線竹本曦次 京

▲趣味講座 〈墨共前後の種朝〉が 本豊洲 ▲音曲吹寄 富士松銀蝶 ●映画物語 未定、總永天露、仲 奏指揮、宮野融 (墨共前後の傾朝)松日日午後六時廿五分 性病 9 活

**皮**軟梅毒 肾性素 病

開産獎勵の為の御試用を乞ふ 作界的新發明の男女毛愛美養液 にちが、かけ毛で苦勞は全く無用 ②本液は男女年齢の差別なく白毛で、赤毛が 元の黑毛に生き歸り頭のカユミ、アケ、 服毛な変積一版大連市内、回風八十銭送料十 大連市桃源臺電ニ〇ニ四 帯側、東京新富堂支部 伊勢町電三八二二番 大連市・高田で、一名 大連市・高田で、一名 大連市・高田で、一名 大連市・大阪に保ち得らる を要する事店化粧品店にあり、毛 を要する事店であり、毛 を要する事店であり、毛 を要する事店であり、毛

洋

を達する確實の効力を有する安全短時日に應用の目的と安全短時日に應用の目的になる場所が作用を以て容易 茂生

景 品 千本を 見 釀 造場

▲オポマルチンの新登寶 活力増 を受験で度、芳香美味なオポマルチンは、電西エー・ワンダー化學品製造所から和記洋行が 「一、二茶匙を加ふれて要芽及 でつ、ア香味があって一般家庭 があって一般家庭

物ニユー

三二一等等等 弗金金金 千本中の景品(鹽町 箕頭棚延野汁月末田

誠鶴一升入瓶詰一本御買上の 御方に上等タオル一筋と

九六九四貳 〒〇 筋本本本本 抽籤券を差上げます

安東縣四番通 四平街仁当街 **駿山北三條** 遼陽本町 長春中央通 宫三宫矢製大近竹宮秋宮本盛渡和宮水福增河 幡氷利江島下山組多和邊肥井野 精鐵 商會公洋商木商

社司行店廠店店店司店行店店店店店店

I.

電話代表五〇六二番 大連 市惠比 須町

お職番に服の廻る忧しさだ。 されて居った。

葉の

勝ち誇る継が、蠍のやうでござすかえ」

近く來連の際定になって居る二佐大夫師の子號三番が寄附上談されると際へられてゐる

歌舞伎座藝題替

理館をこれくり難ら……御銭なされませ!では吹めておーつ!」 総屋は、ふちつく手をあげて 総屋は、ふちつく手をあげて でか?この上、際は脱炭数せ!

(可到時間發話二萬)

舡

邦樂研究會

準備す

かむ

行むの内ムレハ・トツセな大雄華豪 陣 時二 一な的秘神・ムズシチロエるえかせ 九

!よれを喫滿を味趣洋東

(85)

審々木業 京山 駒吉 京山 駒吉

るが、なか~ 舞響に析が入らぬ るが、なか~ 舞響に析が入らぬ ごうしたこ言へば「いま繋町から の道中だ」 本部画館のならい間の がいよ

十三日

映画

窯

内

當る十四日初日

四日間限り日延なし

が思ひざし、ぐツさ干して下ささアそちらの殿さま!叶家の一 何能 何か器の独らないこさた、ぶつ

ひ倒れて 仰しやつてござんす?さア緑返してゐる。 投出して、他愛なく前へ降に持たせる恋流を、いつか

クター・レコードで有名な展界の演出さなりと 新進花形露々木米君は十四日 十四日大劇で 梅の由兵衛、一幕軍の井子別れ、一幕

味さ道樂は大いにすゝめたい。 やうな處にありそうである、稻葉 空二氏なども最貧らしいが、時々 りしたらいゝだらう。それ位の趣 りしたらいゝだらう。それ位の趣

世界大

連 JQAK 月十四日午後七時 

脳四

옏

ラマント社特作コメデート分類

お 樣 0 履 物 は

山

大 (東町)三丁目(電話五七一人番) (東町)三丁目(電話五七一人番) (東京三二八番)

於 大連劇 場

温離を譲想致し場所取りの方は 早く---

毎日 午後五 時開場

ターレコード 一枚宛進呈致御土産として米若吹込ビク

ビクター

スト

ブです

名連員座

ABA III 444 木木木

入場 料 **亲 贵** OHA 000

山木亭 專專小木 人清米 博若若 吉丸鶴奴島若造奴

は

にき め

す場合にも室内の温度を下げずにできます實に重實なが完全に炊け其上に連續燃燒が出來ますご飯を炊き蒸燃料は如何なる粗惡炭(混入セルモノ)粉炭にてもご飯

ピクタ 燒 狀 0 態

滿洲發賣元

H

永

支那沿岸航路は

盆々不振に陷る

中央戦亂一段落で

九、二〇〇噸減

雜食料品(七品)10171 翻味及(七品) 10071

魚類及(九部)

超九

会会会

海關の鑑定は

日本人と更迭

從來の不便は一掃

と離い窮地に関りつゝあ

面から道路ま

城の一覧は

に臨み、活躍は三

屋の背戸で河海

記に、炭屋、棺があり

注目するに足る。

堅

i

江の大城市に落ばない、さては富家がは高く響ゆる天建物を言った地域のある天建ない。

◆…かくて内地は愚か、外國にもその例か見ない歌歌時代を紹進したやうだ、我々は客園において喧しった、我々は客園において喧しった。我をは客園において喧して本部座が力強く呼びかけんさする。

麻桑。 産地情報は青筋鶯替同事 ・ 本語である 本語である ・ 本

出來高

ルについた門(線の強くは日本の鳥) かつ。 本にも使ってゐる。 たば、道路工 事にも使ってゐる。 わけて道の兩 かつ。

が酸水しついあ

○ は値上りを見たるも最近は在貨幣 の は値上りを見たるも最近は在貨幣 期に入れば幾らか緩和されるだら 期に入れば幾らか緩和されるだら 期に入れば幾らか緩和されるだら 大学であり、また法保大豆は三千帆に 地であり、また法保大豆は三千帆に 地であり、また法保大豆は三千帆に 地心本年は十八萬八千順さいふ波に がであり、また法保大豆は三千帆に 地心本年は十八萬八千順さいふ波に かん子二百順の震波振りを示して 豆粕の輸出に懸命さなつてゐるの

支那汽船が漸次活躍せん Bるここは自然豆粕の引合を杜網なものがあり、極端に脚紮して、日本内地であって、耐速なものがあり、極端に脚紮して、耐速をなく、日本内地であって、耐速をなり、一般では、日本内地であって、耐速をはいる。 せしめて居るので、目下の所では ◇・・豆粕の

ないやうであることので驚社の仕事となっていいできてあるにがらて、経験の出題りなみてゐるにがらず、 会年は未だこれさいふ出題りを見ている出題りを見ている出題りを見ている。 あたや は 大連権関が昨年十二月より書類に 製者方配に続て多大の不満を抱き 大り よる通関、戦闘を改成を設するに強いするに強いするに強いするに強いするに強いするに強いするに強いない。 ここがおびしのであるに対してあることは対対に総定管が外人であることは対対に総定管が外人であることは対対に総定管が外人であることは対対に総定管が外人であることは対対に総定管が外人であることは対対に総定管が外人であることは対対に総定管が外人であることは対対に総定管が外人であることは対対に総定管が外人であることは対対に総定管が外人であることがおびて一名の外人総定管を上世じ又内地の認識的の事様に標面 を放って、として上海より邦人総定管を上世で入り地の連延を探索し勝ちにて、かく 本連、大人能かすることとなった。 ここがおいて、名の外人総定管を上世で入り地の記述を勝ちにて、かく 本連、大人能かすることとなった。 は一緒さるとものがあるこで、窓 は一緒であるかけである は一緒さるとりけである は一緒さるとりけである は一緒さるとりけである は一緒さるとりけである

高ス、北部 し油頭は織布器 を駆逐時間の解離者類々たる理様でありたが感感とは一根のドン底の はでありたからが に上り決議せるものは二十駆他に たのである、大會出職者は五十二一 たのである、大會出職者は五十二一 にかている。

なきにおいて全支の横寸同業者大大会に出席する正数のて東三省職合会は総會を開催するになって東三省職合をは総合を開催するになって東三省職の合きは総合を開催し着した底大会になった。この して警戒の目を注ぎ、スエーデン 一覧機能でせぬこさに決定した。

特來マッチ原料を全國同業者 製造原料は一切買は**加こさ** 電典マッチの取扱に係るマッ は左の処きものである。

き事項は左の

大を取扱はもめざる様なすことで、全國同業者が中心さなりてマッチ製造に精通せる外人技師をツチ製造に構通さて全國のマッチ製造に関する技術の改良を図ることで、南京政府に請願して全國のマッチ製造に精通せる外人技師を

を語ったが之水局長は罷るななり、

滿洲

0

**燐**寸

瑞典系へ對抗運動

一十八百七千八第

11、南京政府に請願し帰典マッチの輸入税を引上げ輸入防止に努めること ひること 人し之を各脈に適當分

大きに、 
「大きない」 
「ない」 
「ない」 な情能より線版に腐れる支那側上 いが日本人順佐廠、前田の原氏を が日本人順佐廠、前田の原氏を が日本人間佐藤、前田の原氏を 場を五百

有決議の實行委員を三十名選出 肉類等の市場に殷盛を極めてゐる

とめたものである、佛と當時は最

昨今概蔵の傾向にあるらしい、前十餘戸、人口千百名さ鑑されたが十餘戸、人口千百名さ鑑されたが

市

況

代三十

定期晚合言

高全田帳入

吉松の人口

頭までは戸敷三百二

會社にあつたものである 日本人採伐権を回収する 日本人採伐権を回収する 日本人採伐権を回収する 日本人採伐権を回収する

に でき、しづかにそこには他地方に でも、しづかにそこには他地方に でも、しが 関係している と できる と で 豆は豊隆五十 しばかり

変記。 現権共に融漸であるから少れが▲現物大豆及び現物运程は当立で六日殿ではあったが▲ 国際は新立で六日殿ではあったが▲ 国際は新立で、日殿ではあったが▲ 国際は新立で、日殿ではあったが ▲ 国際のの登録を示している。 市共に品等であるから少 の質量があっても又急騰 りないさ思ふ▲定期大 工中車の質りがあったにも 工中車の質りがあったにも 大豆及び現物豆稀は買ったる新規材料も突養せたる場合に推移した。

オヴペームロコ印

市深配りで取引も呼成り活躍であれて取引と呼ばればりでなった。

式 一二三八智比 六六智比比 鹿白酒銘 銭五十道片りる便

二 月月月月月月初

新東(引 報子三世 五四五六〇枚枚枚枚 12 種相 大

花 大三型 引 関原工用 長 辛士川

原原限 開放機 開取限 関係限 乗 = 5 3 3 4 5 5 5 5 5 6 7 5 5 5 6 7 5 5 6 7 5 5 6 7 5 5 6 7 5 5 6 7 5 5 6 7 5 5 6 7

特(東京 (東京 ) (東京 )

奥地市況(計學

京

云至美數期

先當前場寄

取柄安先當事 京 式

も强保合

北濱市場聢り

の資行が大變よい

の他多数の職にあって活動してるが多年内地にあって活動してるが多年内地にあって懸系法の研究に精進しただけに製菓法に明るい。 一次で知られてゐる、誠に菓子依要するに味覚をそふるやうに作をのが第一でせう、それから質

いさいふさころにあるのではなながら見てうまい。たべてうま

買氣失せに

現ってあった。現物大見及び現物見和は質氣失せに一般の下押しな示したが他は平に一般の下押しな示したが他は平 **砂票保** 

中朝の海外村料さんての輸数線塊 中朝の海外材料さんての輸数線塊 中朝の海外材料さんての輸数線塊 一定(八分の五さ(十六分の一 一定)、和育は三十五仙四分の 三さ(八分の五さ(十六分の五さ(十六分の五さ(十六分の一室)、和育は三十五仙四分の 三さ(八分の五さ(十六分の一高)、湘中 比八分の五さ(同事)、米英は八十五仙 に十十一嗣六五〇、大洋は百圓五 は十十一副六五〇、大洋は百圓五 は十十一副六五〇、大洋は百圓五 は十十一副六五〇、大洋は百圓五 は十十一副六五〇、大洋は百圓五 は十十分の一室)米英は八十五仙 三十二分の二十七さ(十六分の一 を〇米支は三十九朔八分の三さ(八 分の一安)上海標金は五百六十八 阿五さ寄り六十七回丁度さ止め當 市の銀質は保合を呈した

綿袋變多 す

中 三二一十十十限 月月月月月月 横

二一十十十 先當 三一 神 限限 二二二二 前柏 五五五七 場 四三〇〇〇〇 一面

三三六、四九八 一四三、〇一二八 四、四九八 二、四九八 二、四九八 卸賣物價は 九月も續落

(四)

旬の鐵道輸送

三北等の支那治艦は船ざ解放を配の移動も船と総つた格果塔機

られない低し木桃の戯出しは相談いさいふ陽像から左種の事實は見

見

美味

にあるようである云々

去年に比し著減

下旬に入れば激増しやう

ちく日富排展監時以上の不識を呈 に無機で接別の事態が起り接帳と ない殴り、混影鯨路就中採艦は は一葉を設定すること は一葉を設定すること は一葉を設定すること は一葉を表示する。

石炭の滯貨は三倍

更に主要發送貨物發送を種別に見

しはせわかき観られてゐる

九月中は

取扱内規作成 ・ では既報の通りであるが近く職合 ・ では既報の通りであるが近く職合 ・ では既報の通りであるが近く職合 輸組共同仕入 が大連融写會師所調査九月末に於けた連融写會師所調査九月末に於けた地で、一分六厘の低深、之を前年同月に上である。前月に比で、一分六厘の低深、之を前年同月に大連、第6四十一種にして平均、大連融資物で、力大厘の低深、之を前年同月に大平一月を基準さしたる指に、一部二分九厘の低深さしたる指に、一部二分九厘の低深さなの。前月に比監察などがは、のの起くである。前月に比監察などになり、

特産出廻りは

今年は遅れた

支那鐡の收貨は左程でない

千秋氏北滿視察談

た告げたが、受渡し高は二百七十十年を告げたが、受渡し高は二百七十十年を決は十一日前場な以て納會大連取引所錢鈔市場に於ける十三 十三日限り 鈔票受渡增加

の部」は横葉な政策のために繁榮の部」は横葉な政策のために紫榮 らのにさせ、顔ばせも

憂悶の影が

近の松花江』 今…滿洲の小寶界にも続くこの際界

二十七剛八十錢 五十三圓八十錢 場(保合)

株(强保合)

本社 線 一大変の要送版図を見れば 一大変の要送版図を見れば 一大変の要送版図を見れば 一大変の要送版図を見れば 一大変の要送版図を見れば 一大変の要送版図を見れば 一大変の要送版図を見れば 一大変の要送版図を見れば 一大変のを 一大変のを 一大変のを 一大変のを 一大変のを 一大変のを 一大変のを 一大変で 一大変で

九月中の大連海隅總收入は九十

海關增收

の学数に満たない状態である)

一、〇〇〇噸減

職主に南海各地の業務観察を終 等北海に於ける同社各地の業務 駅壁を観察中であつたが十一日 を超連左の如く語る

如くである 更に類別に類別に

に依る騰落を示せば左の

を

通

9

T

別

前月を前年同月

木材の

都去

行き交ふ顔に

も漂ふ

伐るに伐られ

ぬ悩み

所

剛 前年同期三六〇噸

○○噸 前年同期三九、○

総条、総布晒木総、モスリン、

のか称 ける嗜好を加味するさ共に内地震のか称柔軟にし、内地さ滿洲にお 

水洋行は明治

事に當つて忽

스스플롱경 本六四〇

を三五八

合

11公会 1 1 3 1 空引 大 月月月月月月月 大 展限限

阪

仁限限限

が何に評判がい > か さへ 塵 々あるそ リカ三州までも

滿新錢新館 數東 鈔 豆柄 ◆ • 引寄引寄引寄

限限限

版 版 版 前 場 斯

食べ 林洋行の自慢の菓子 將に羊羹は他の追隨 て美味

を許さぬ おいり である、 大郎の人大郎氏は大下のである、 大郎の人大郎氏は大郎に、今日では二十齢名の優別なり、今日では二十齢名の優別なり、今日では二十齢名の優別なり、今日では二十齢名の優別なり、今日では、一大郎の人大郎氏は大

であるが今後は意味系子に特にカ 原子(佛事や融や蔵會用の)など が、も多脳特徴呼歌してゐる、競特派 対のいとのは羊葱、緊健頭、意味 のはお恋、緊健頭、意味

外国菓子では森木のキャラメルよ

同同同縣

肾

ग्राज

日東本橋京

(15)

管絃樂曲集三冊

男をある彼女達

定何一面二十歲 選

月廿五日

た燦芒光よ見 (14) (13) (4) (1)

(12) (10) (8) (7) 鬉 絃樂曲級小合奏曲 (11) (6) ピアノ 合 民 劇び及 唱 歌 曲 謠 曲集三世 劇 集(三冊) 曲

全

全集」を發表する。實に日本が世界に誇負すべき唯せる我社は、光輝あるその第二次事業として今茲に世界音樂全集」の刊行によつてわが音樂界に絕大な の赫々たる功業を 日本人にその心を詩を 生んで藝術日本の爲に萬丈の氣を吐ける世界的樂人たる氏、 家たる山田氏の全作集、 して技に本仝集の成案を見る。寔に我樂壇空前の計 今や時恰も此の偉大なると 氏の雷名は三

共同建築事務所 井木 孝治

發

大前環路ゾ

本語のオーカオリ計 在は人生の一大事である。

首識や性病の對策

[: :]

新 元、カクテルの一杯! テイスボル

新永

(6)

童

謠

曲

集(三世)

謠

曲

集宣豐

好 水 明本 好水は高さい

四水田頭 新

三杉湖正 **答解釋法** 

劑進增壯强血補 を総食 體 を重



一个、内容見本申越次第無代進星 御入會は今、第一巻より順序よく 期開始目下特典附新會員募集中 場場がは全國書店又は直接本社 ル フ閣下御替助 整山岸光宣監修





水産大會に

社

說

國調記念消印

約二萬四千

、 本楽書に合まれない。 本楽書に手大百三十 の他物候七千五百七十 の他物候七千五百七十

晒湖水產大會

けふから開く

午前中關東廳で會議

によるもので何等今後のによるもので何等今後の対対

奉天の對西北軍關係 南京軍側の觀た奉

京十三日養電通』 概所改革間 長か (東京 ) 一日 ( 軽さなって

敦倫着は廿五日頃

海軍費査定の方針

内における資料を蒐集するに止まりのであるが度に当ける下調査、(順等を機)の東集等は周密を機

昭和製鋼所敷地は

ができた。 東用飛行機でニューョーを変換會に出席のなめ渡い、ニューョーを変換のに出席のなめ渡い。 が表示できた。 では、ニューコータで更ながある。 では、ニューコータで更ながある。 では、ニューコータで更ながある。 では、ニューコータで更ながある。 では、これール氏が、これール氏が、これによる。 では、これによる。 第三回兩部日本水産大會第一日は 一日に午前中會議午後は旅廳の殿會の等で武富按秘藝典館、小選 行社に然て開東長官主催の午野官武富按秘藝典館、小選 行社に然て開東長官主催の午籤會 をは六時より昭和賦に然て旅順市 に及ぶ内地朝鮮、薬職を地の由曜 長の歓迎晩監會が開催さる、響で 著は厩に昨日送天々來滿、大連及 ある 米穀對策協議會 鮮米、栗、高粱輸入事情說明

きのふ農相官邸で

人 事 ▲ 触貴卿氏(元陸軍大將) 十三日 入 市 天御丸にて帰連 本 武 京海氏(石務80 典官) 十三日 本 武 京海氏(石務80 典官) 十三日 十時三十分着列車にて來連ヤマ ト ホテルに投宿 本 二 浦岩雄氏(石務8省技師) 同上 本 治上隆一氏(石務8省技師) 同上 本 岩月源一郎氏(石務8省技手) 同上 でする。 一般ないでは、 一般では、 一をは、 一を、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一を、 一を

大阪三島の後場に近物百三十九間二十段で前場引に建し六十段を前場引に建し六十段を四月限6百二十一間九十段さ七十段の変物があつおり、小口の変物があつおり、 大阪三島の (大阪三島の (大阪三島の) (大阪西) (大阪三島の) (大阪三島の) (大阪西) (大阪三島の) (大阪三島の) (大阪西) (大阪西) (大阪西) (大阪西) (大阪西) (

三品ポンヤリ 當市弱保合

保合裡に推移せる参照は本場標金安に人銀引立ち七間十銭さ品館を 今定期後場、単位後) 今定期後場、単位後) 今定期後場、単位後) 場所で 百九十七萬間 今月 物後場で単位後) 銀野金 銀河洋 金野洋 11、時 不申 11000 不申 二時中 不申 11000 不申 三時中 不申 11000 不申 日東高 銀野金 永平

下野を中止し

閻氏山西に籠城

豆 柏 出來不申
豆 柏 出來不申
豆 納 出來不申
此來別 六百座
高 榮 出來不申
此來 出來不申

數字上の交渉は演習終了迄拒絕 **茶體的交渉は來月初** 

樞府改革問題は

提唱者善後策に腐心

産業員級にして総殺 芸術では困つたものだ。

國營失業救濟事業

愈は急速に着手

十五日から大連にて配ふ二週間に 取って開かれる日浦旅客連絡會画 で八名は、同じく同會廳に出席する東支および鳥機代表一 る高線のルピン事務所運輸駅数事 を着弾車で飛連蘇に大連ヤマトホ ケ着列車で飛連蘇に大連ヤマトホ テルに入ったが東支鏡道首席代表

きのふ水連す

上京 太田長官 る丸で 十五日うら

満鐵の意思に從ふ 鮮人の歸化問題は全く白紙だ

三民政支署の

昇格の件を協議

昨夜來連の武富拓務参與官談

きのふ拓相官邸で

學としての廣告

とその實際

たがおいかけであります。そこで が果を要するやうにさ色々の新工 が果を要するやうにさ色々の新工

在は一層に対きましてもマークは別さして ではこのはしてから美術を厳行 が大神のマリネッチが未来派運 が大神のマリネッチが未来派運 ではこのはしてから美術を厳行 をはこのはしてから美術を厳行

でした。 が総上版まで掛けてありました。 大学観光版まで掛けてありました。 機能が を見上げてある機能が でした。 が総にの が で見上げてるる機能が でした。 が総にの が でした。 が に て でした。 が に で した。 か に で した。 が に で した。 で した。 で した。 が に で した。 が に で した。 が に で した。 で した。 で した。 で した。 で した。 で した。 が に で した。 が に で した。 が に で した。 が に で した。 が に で した。 が に で した。 で した。

さぶつからであります。美術方能 さぶつからであります。美術方能 はやはり現代人の悪奇路、流行館

をもつからであります。

A さうだ。しかし教育者の中には異にエロの泄滅を呪ってある

エロ能事業の存在を呪ってる

をのゝしるやうなこさはしない もういちめるナ、もう分つた

会さへして居ればいるのだよ

教育者なんてものは生徒に命

ます。東京あたりに

間はラチウムのやうな元素によって対象な色を焼ち夜間は電無の美 が流行しかかってるます。

た一の職業さしてのそれではなかったのであります。職者交はすべて職職で、語品が職権の場合にも同様です。職員や英級等を放けすべて職職で、語品が職者をはすべて職職で、語品が

病のこの方面における

米國婦人ドレス

はズルくした態性向かないもてショルトスカートだ、は

かけさいふ感じな残してゐるかけさいふ感行のかけがで如何にも層

イスパニアのボロレ踊から

毛皮も新しいかけ方

ではなく、強くさもそれが大衆 ではなく、強くさもそれが大衆 のみを繋象さして能られるもの

部の選挙者業

今秋流行の

のものは、大衆の興味がそこに

マニロングスカートの流行

そうした材料が取材される所込 お密報を好んで取材してぬるが

**機なのではなくて世様そのもの** た言葉を選ふ新既や郷島が不識 反映するのだからつまりをうし 何しろ日本の 認能界を代表す D ■ おおはきうしたことを子供に 「おちゃんはざこから生れて來

A 見ら魚エロの減熱を機能する で来るのは敷育性があり、だがハルマンあたりで機能りを整んで見ない。だらう、だがハルをして見いる。

于 整教性

金は大人が六銭、十五歳以下の

---

それだけ世相が監督になって殴りいゝ傾向でないナ

の趣味さして驚然なこさであら うさ思ふ、魅之を観歌経過か ら見るさかなり悪歌なものに様 をない たこさがあるが、楽趣能に見て たこさがあるが、楽趣能に見て たこさがあるが、楽趣能に見て

東國にある日本人に此の話をしたら、英國にある日本人に此の話をしたのでは三十餘人かの召使ので、社會には三十餘人かの召使ので、社會には三十餘人かの召使ので、社會には三十餘の際級が五六段も選ふさ、ない、印案ので、「日本」といる。

かして命かしてやったら、地の妖態である「日本さ大会なの」と命かしてやったら、地

客も二等の客と戦車共に同時に運

ルジョアーだから

果を學げる指針 | 業とを舒達な 林業の革新的理 第二編には被 第三編には歴

は<br />
動物が<br />
輸告<br />
大技師木村金太郎著 <br />
新列施<br />
紫色百計<br />
真・

エロ・グロ

て、窓兵が乗つたなら感で殴るや、窓兵のための優先離が設けてあっているの優先離が設けてあっています。

葦の髓から

天井のぞく

な

職や総論は世間をそのまと

B いっというできるを得なかったが、さにかく歌いた弦なだみが、さにかく歌いた弦なだみが、さにかく歌いた弦なだみが、さにかく歌いた弦なだみが、だがのの暴れたのはステーだ、だがのの暴れたのはステージを観撃の最高なとことよりも認うの無いなる観撃がある。 A それはハルピンの一名物さして見て來るに過ぎないさ思ふ で見て來るに過ぎないさ思ふ

A さう教育者を教唆するな の教育などといふ仕事は教育者 をも表面だけ美しく解って配け はそれでいいのちやない

りカ婦人ドレス、イスパニア のボロレ暦の服数を模したし ので熟得色な上衣の色が纏ク レーブのベステーさい、順和 たは根壁らずほったらかしだっ ですさ云って太郎のお母さん一 さすさ云って太郎のお母さん一

に能見扱びにされた。 「他能見扱びにされた。

があつた時、太郎は毛工を出配から二番目で二人共三年生になから二番目で二人共三年生にないのでも、標底らずのびりこびりでも、標底らずのびりこびり するこさになった。





新聞記者のあるこさも考へて 臭れ

育者自身が自らの行ひな慣むこれで乗るるは最後に残るものは歌

さより外にない

氣持の素晴しい 連鎖街の浴場 建造費八萬圓の



人間生活の最妙な矛盾がこうに

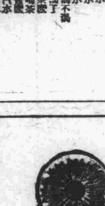
積資

金金

壹億壹千參百五拾萬圓

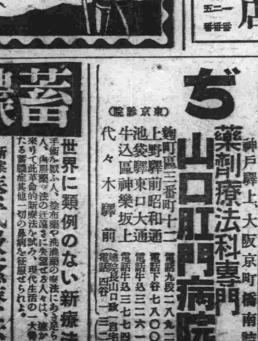
本立本

支那語初等課 秩父固太郎



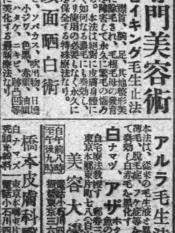












はり (一時 本院・監歩した) して黙我の優々、発布すれば下り して黙我の優々、

字博士小野·寺伊勢之助著 薄朗·布獎·爾巴尼鄉經綱 [天晚 新刊

東京帝大騎師林學士·藤島信の野州的の新著 各種試験法で、本書は著者を開拓せ 基く原料のままるを開拓を開拓を開拓を表した。 本書は著書を記録される。

・追願するものゝ妮くであつたが、 管頭して歌は暫し緊腰して独時を 管頭して歌は暫し緊腰して独時を に翻ばりて見れば暫に其の影響の、

兵の際に

不休献 身的

・ 大八年の六月で夫れ恣跳党縣鍛鍛 ・ 大八年の六月で夫れ恣跳党にもて高をトート八年の六月で夫れ恣跳党のは ・ 大から人民の中戦遊館を討したのは三十八年の六月で夫れ恣跳党の始駆さして高をトートルを ・ 大か

数の存在が高れられてある様な感と機な連り焼こか稀、人目を引

電符 味噌臭く無い という ままま はい こう にい こう はい こう にい こう はい こう にい こう はい こう にい こう にい

縣兵路滅院補助驗御に從事と除滅。

## 呼物の 醫大の寮祭 年中行事

神時から野行され日曜のこと、て 中時から野行され日曜のこと、て 苦心の飾物拜見記

大きい本のもことにあった。 は人さに内地られて最高的ないでは、 は人さに内地のもことが楽があるで、 を対すると、 は人さに内地のもことが楽がした。 を対すると、 に人さに内地のもことが楽がした。 を関いてある大蔵にも足して、 をはたって、 を関いてある大蔵にも足があって、 とではたって、 を関いてある大蔵にも足があって、 をはたって、 をはたって、 を関いてある大蔵にも足があって、 をはたって、 をはたって、 をはたって、 をはたって、 をはたって、 をはたがりにこれはでは、 をはたって、 をはたった。 とれた。 をはたった。 とれた。 

本人がそれになり切って年初年 中でなくて朝から晩まで見物人 中でなくて朝から晩まで見物人 中でなくて朝から晩まで見物人 であった、木の芽やかやの質た であった、木の芽やかやの質た であった、木の芽やかやの質た 本その他中寮では山水、影、晋人 の使命、早慶戦等もよく出來て のた ▲山木第十六師園長 秋季演習の

▲東家十八號室「出師の表を見て」ので三省帰終長途飛行を決行するいさいふ美しい金經もあつた 「賽々哈爾の飛行場が近く完成するべてでもあの人なら共に生きた」東北空軍副司令張煥相氏は吉林、 曜で多數の人出あり盛競馬は十二日から開催

街

の 發起せられば人能立することになり、 
を登に然て解立機會を監修し続山市場会社(報立することになり、 
を登に然て解立機會を監修し続山 
市場株式會社解立に関するの性及 
を設定して解立となって 
を設定して、 
を表示しまって 
を

二名の賊拳銃で

わが警官を亂射

先づ此が配では二

全舊市街庭球 突に選手なき為り記録なく四種目 もも豫定の科目を確つたが五十米 しも豫定の科目を確つたが五十米 記錄大會 最終日の成績

郝敬恒(旅二中)二 がて加友を撰じ披露裳を要る智 ・ 地方と説を表して、 ・ は地方と説を表して、 ・ は地方と説を表して、 ・ は地方と説を表して、 ・ は、 、 、 は、 、 は

花柳便り

戦のます

名がはこれには一方には一方とは一方と ジューラングには、ショングラード 墨巴抵短冊繪稱抵 書盡用品



がからのは人に非す」成権われだけ数事の表がたまつて居れて は泣かうさ云はなくても泣かされる喜ぶものはまかなひ人ばか (5)-+ 歲 八





柳村

麵 八

|| 東町三九ノ三一
|| ・一・一八

大連若松町二一

佐藤多女

V





元町一四・一三 古賀

宮臓 嘉永四・一・四 大連日ノ出町三ノニノニ 大連日ノ出町三ノニノニ 大連日ノ出町三ノニノー 大連日ノ出町三ノニノー



大連大和町三〇ノ三水井ファ



大石橋昌平街一二

報やかなりも事よ 黄金

サート 日午後三時過ぎ管内山頭會支 一十日午後三時過ぎ管内山頭會支 一十日午後三時過ぎ管内山頭會支 一十一日午後三時過ぎ管内山頭會支

するが思いるとはいるが経り はたら経く遊ざかつて仕舞ふだら はたら経く遊ざかつて仕舞ふだら

涤名赤. 名与去 發责

新州君代が

(定費ニーナ等) =

◇慰売ひの面倒もなく手軽に染まり燃や松をで、一度染めたら容易にはげず、くせ事、アスの下を破がない野が化……そして

新小 君が代といる新製品が出来ま

のて谷が配から熱田的散迎を受けているな値段が大利的で、しかも迷るよく

館やかさに楽め上げるのが一般も一

名が代の誇り!

◇一度健ったら浅して忘れられぬ動物的ある

とかけ豪生苦心の怨鬼節り立てら を野然に歌科教室に身かけ午後 でと野然に歌科教室に身かけ午後 に入っては強威も庭参級の活案押 に入っては強威も庭参級の活案押 に入っては強威も庭参級の活案押 を対象に歌科教室に身かけ午後

1600 もの、風景等観察。

大神に七時過ぎ版会した 大神に七時過ぎ版会した

町のニユース町のニユース

▲津田海軍少將 十二日撫順往復 同日熊岳城へ 中谷関東峨弩務局長 十三日來 奉

山の紅葉狩

▲計富拓総省鏧與官十二月撫順ため十二日渾河往復

て市民を機關代表者は十三日午前九時地方事務所に繋り軍隊を訪問して記問した

海組の力戦 に一郎

小青下間原堀

五一三

佐兵石森馬池

木頭原 場上

吉林の双十節

吉

林

かさころさなつた

館木決薗島崎本木村第館木薗島田井

回戦

三〇、五一(同) 林治國(神三〇、五五(同) 夏寶林(同) 二五(回) 夏寶林(同) 三二、二七(同) 珠治寶(同)三二、三一、二七(同) 珠治寶(同)三二、三同) 安立才(師範)三二、三一、二七(同) 珠治國(神

4

日安奉線より過率赴連

未山伊岡山岡県西 新市本 中の 谷崎藤田崎本木村街第 選続 日本

Ò 奧有西友前勝明濱市

勝職

・ イニ太郎(エ大)一七分六秒(初段) ・ 本体高跳、津山豐樹(エ大)二米カ ・ の(一級)

株不二太郎(工大)一七

級)從本正義(旅一中)三九米 (一級)輸山克已(工大)三七

曜で賑はつた

突込む

閉式した

自動車畑中に

四四

鞍山市場會社

廿四日總立總會

い時の旅大道路 夥しい太公望銃獵家

世十錢にて優勝カップが出る 七十錢にて優勝カップが出る 七十錢にて優勝カップが出る 全滿陸上競技

招待山遊び

に安東縣は我軍の手に**かった。安東縣は我軍の手にかり** 現が明治三十七年九月陸軍省城院 が明治三十七年九月陸軍省城院 が明治三十七年九月陸軍省城院 翌三十八年

に少いてるな | 株式 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 x | 1 

地の郷客は前記二行政機関に依つ 暑の廢止に 

其香味に障らぬ適品

と玉露の茶を飲むも

(徳用大型チューブス)

美しく強い歯に りて、香味無類にして後口の宜しさの監外學の称を悉して防霧消毒は酸とな

水水

疾鬱用中部チューブ入一箇金 拾 縫垣用 大 形チューブ入一箇金 給締

合理に配合した理想品で、香味優れて廉値です。現入と较入の二額があり、最良の原料を科學的報入と較入の二額があり、最良の原料を科學的理想の粉ロミツワ報題があります。理想の粉ロミツワ報題

Oミツワ石鏡本館 東京 九 見 歴 晦 森

掘

B

DI"

明

参サ

(州五)

卷の東安

行政機關の變遷からみた

附屬地の移り變り

安東縣開發の始祖大原少佐から

現在迄の慌しい發展振り

望月福太郎氏談

地域は現代を表して機関・地域は関係を表して機関・地域は関係を表して機関・地域は関係を表した。

・多数数が着あり楽器として機断・なるを数数が着あり楽器として機断・なり、一般は対象に対する。

・多数数が着あり楽器として機断・なるを数数が着あり楽器として機断・なり、一般は対象に対する。

新舊市街對抗庭球戰

所在の官儒學校會社籤称者及び一 ・本衆運動具店社催にて來る十七日 ・本衆運動具店社催にて來る十七日 ・本のたが出場資格者は雲市街 ・本のでは、日本のでは、一本のでは、「一本では、「一本では、「一本では、「一本では、」 ・本衆運動具店社催にて來る十七日 大會開

IX

比の其では一般であると

膓チブス

近〈豫防注射 不社寄贈優勝旗

旅 順

新市街軍に歸す

舊市街軍の善戦空し

宵の口日進街の兇賊 一般市民家庭に於ては最近駅チブーのでは では、三日中には産業診臓並に後 し二、三日中には産業診臓並に後 し二、三日中には産業診臓並に後 し二、三日中には産業診臓並に後 し二、三日中には産業診臓並に後 し二、三日中には産業診臓並に後 でもるる 豫防策

外交官物語

CN

在東京

総せる視察殿に加り十二日愈行に はなる視察殿に加り十二日愈行に 株式食紅谷県大郎氏は今 職総が 株式食紅谷県大郎氏は今 職総が

廉價で賣る

成了年水至十五年以上職職、會配は被威五年水至十五年以上、翻點日本教行する事を決定した、翻點日本教行を事を決定した、翻點日本教行を表した。 歌日式在餘午

湯井瀬氏の次がシゲ子順(\* ※井家の不幸 恋原店費 石

日午後二時中城草まりて死去したとはかれて麻無中であったが十一

店々頭に右の協定小賣値段表を掛れる、因に宿餐前より市場内各賣 がするから一般解答は特に注意 · 出資者に對する通知が頗る珍、先

貔

子

滿負の盛況であつ

ながたった。そしてまた部門的なさいたった。そしてまた部門的なさい、 製薬ものや、仕事の出来ないい、製薬ものや、仕事の出来ないい、製薬ものや、仕事の出来ないは、 場座も一人前に膨いた。 は、 場座も一人前に膨いた。 では、 場座も一人前に膨いた。 では、 場座も一人前に膨いた。

所情報主任は赴連中

の観出は信用観り帰に出てなかっ

のちに、ヨッフエを揺ざ、勢震 が聴ったのに黙して、放突さして を、 
のちに、ヨッフエを揺ざ、勢震 が聴ったのに黙して、放突さして 
を、 
のちに、ヨッフエを揺ざ、勢震 が聴ったのに黙して、放突さして 
を、 
のちに、ヨッフエを揺ざ、勢震 が聴ったのに黙して、放突さして 
を 
のちに、ヨッフエを揺ざ、勢震 
のちに、ヨッフエを揺ざ、 
のちに、ヨッフエを揺ざ、 
を 
のちに、ヨッフエを揺ざ、 
のちに、コッフエを揺ざ、 
のちに、コッフエを揺ざ、 
のちに、 
のちに、コッフエを揺ざ、 
のちに、 
のちに、コッフエを揺ざ、 
のちに、 
のちに、コッフエを揺ざ、 
のちに、 
のもに、 
のちに、 
のもに、 
のは、 
のもに、 
のもに、 を 野は「そんなこさが出來るものか むかうも立派な端立國だ、他國の おからも立派な端立國だ、他國の 赤になつてカ味あつたものだ、それがどつちも大漢面面だから、今 れがどつちも大漢面面だから、今 を上げて、疑疑の態酸の底から吹をかためて、尾崎に態味した、松

もならすに、矢郷宮中に入つた。 かれら支那外交首さして一さしきり がなくして外根と かった、 として後に宮中に入つた。

や腰が難いから、わしが内田を職長になって楽た。その時「内田じ

間出兵を押え得たのは、外交調査 かつた。そして本野が出きてある。 かつた。そして本野が出きてある。 かった。そして本野が出きてある。

かった。そ

それが、その通りにならな

それがロシアに干渉しろさいつて

合画の一量である。

型っても鯱で蕾に俊するさ思って 様の出す。初め本野はロシアでは 様の出す。初め本野はロシアでは

だった。

易矣壽世

滿州日報七五通年紀念

H

た、式後谷林亭植掘の美妙連続 賭博で捕はる

施神に融級に称りその間が谷原亭

通行制限

荷馬車の

蟠龍寺の法要

興華樂園披露

春金融組合は開業以來順調な業

中に決勝戦は画鉄調査や運動會のため整務決合さいふ説も出たが本年で決勝戦は画鉄調査や運動會のため、監督とはなりのである。 總務軍優勝 野球決勝戰

の態度緩和のため濾過でいる。

はいいるのがあり、その部下の一の ではないなのがあり、その部下の一の では大戦さ世に で、親分には織 勝であったのである。 いふのがあり、そ

の、賭場を置い

公會堂設備成り 映畵の夕で賑ふ -日十一日兩日の盛況

能焼さして大連質素の安藤為氏な 事になった此決聴驟行の十日特に したのみで言

多数集合したが解

はあらって

こさか知つてゐるので、嫂

[arthr?

奥様から言ひつけられた通り使の態勢をさいて聞いて見る

織で午後七時に

がおいた。 がおいた。 かいたが、 かいたが、 かいたが、 かいたが、 かいたが、 かいたが、 かいたでは、 ののでは、 長赴連 満線事務 一時四十分後列車で本 が大連に配った、 ため大連に配った。

きか、茶の酒蜜で、お

と 様をはじめ、娘さんも、参照全部門か開けておいたち、誰だか知ら

を持つていってしまったさ言ふ。

女給 歌名至急于 東鎖街

新一二七八番

牛乳

パタークリー

女中 至急入用

ホテル電七一五五

女給 四五名至意入用優遇ず 海瀬出土水建築協會食堂 飛桐年齢廿五歳以上 音検町四四番地 選 田

フョウ品高質質

感客連絡會議のた 

をの計画も高れ、娘の味の上で腰に降ばらつてしまひ、重大なそので、しまひ、 の歌き二人で持てるだけの金を嘘。 よろこび、現夫婦の姿に忍び、脱 はあるで、現夫婦の姿に忍び、脱

が軽けさては一杯喰はされ、自 が軽けるては一杯喰はされ、自 ででは後の祭、さればさてほんさ うのここは瞬へられず、い、加減 が軽、 寒崎をまで控動され、ま、 こさから、案中を原動され、ま、 にこさから、 な中を原動され、ま、 何ら得る所もなかつた。 通牒し、他人逮捕に盡力したが縣官も重大事件させて各が献に

も困るので象量家具を三百七十国 は減らいです、たと果然さするば 要をまできらばれた泉が騒ば、今悪の報いさは言いながら、一日

登家 日常り良き新住宅を関う 三間風呂ペチカ付賃州五 恵地須町一八七 秋森 三門風呂ペチカ付賃州五 三門風呂ペチカ付賃州五 一一、三気斯風呂水 道完備賃州五両矢代電四八一五 **附添** 端立派遣 端本派遣 邦文 タイピスト短期養成 第話四三〇八 英 摩 會

英文 麦角文タイピスト生短期 受放が悪印書監部通九六 東 學 會 電. 話

と金金 (ウ) 古野町六名古屋館電六三一一 (ウ) 古野町六名古屋館電六三一一 (ウ) 古野町六名古屋館電六三一一 (ウ) 古野町六名古屋館電六三一一 ハム ツーセージ 吉野町二四 小水 ーピンさ水商 三河町地内電八六七五番

牛乳 パタークリーム 電話四五三七番電話四五三七番 電話四五三七番 信濃町市場前 電五二九三番 州牧場 電話六一三四番 宋政婦 第列派館第一日泊亞灣湖世路 第一日泊亞灣湖世路 第二大公三華 濟生醫院 北

四 十月 + B

年五 職職を長秦聖州氏伝命せらるべし 関監督に発帳に内定して居るので その後低に就きいろくの下島評 があるが一説には現へルピン市政 があるが一説には現へルピン市政 があるが一説には現へルピン市政

(可認物便報確二篇)

牛莊港の

碎冰船

少年團の

雄辯大會

一手金、東郷等からも親々さ 押舗窓

なるべしさ歌越されてゐる、因に なるべしさ歌越されてゐる、因に なるべしさ歌越されてゐる、因に なるべしさ歌越されてゐる、因に

さ書いてある、まるで無行説がだ 八場祭

德回實

15A 計 12

しな、うち織しる、生

今冬試驗的使用

工程局會議にて決定

注目される結果如何

能され左記の熱症あり十時盛會裡 に於て少供が年酸の鍵盤大會が際 で放て少性が年度の鍵盤大會が際

小學校の

遼

配分した六十間から千二百個迄の 金額は現金ではない出資金で之を 整保に利子を支掘つて利用せよ其 の期間サケ年大抵のの者は利子で の期間サケ年大抵のの者は利子で

る様になった 北風が吹き出

を 民會から滿親會社に飛船がれ滿殿 民會から滿親會社に飛船がれ滿殿 大多ので朝會の際式を攀げ棒燃袋長

源金さ云ふ佐のものなら爆よく現 に用するのが震燃、利子取つて元 に用するのが震燃、利子取つて元 で変し受験した以上最も有効 があつ飛ぶ様な策は感心化らぬ

小賣市

員社小賣場も成々落

さ思ったが、表面は「個事もないよ」 一今夜自分を報って行く計画になめ、 ま」

計る

持たしておくやうなもので、好なであるが、一般の金を出したのは、それは一時に

枝次朗書

中の財産線でなる環境して行くついてに家

にしてある。

まだそのまと

第はごう

して居るだらう。脱版

第や殷誠を迎へに四ルへかこう

大黒町一一六電二二六〇二宮坂登局・十疊八疊六疊前人の方望

THE

療治御望みの方は

おれの運もよう極はまつた。死

しりであつたのである。

は戦骸じに二人で少し飲みませう

輸組役員會

見童デ

を撃行した、

議長一同な代表して説 の挨拶あり來賓より を登上り

公主

房 る多販見送り人に送られ十三日正 の製織を避じた田坂截峰氏は今後 電解式低さして多年会名あり数多 電解式低さして多年会名あり数多 電解式低さして多年会名あり数多 電解式低さして多年会名あり数多 店

遊騰倫入組合では十二日午後三時から整意役戦會を開催したが同組から整意役戦會を開催したが同組から整意役戦會を開催したが同組をの名を開催したが同組を関係を表して

盛大に擧行

佟縣長送別會 鳳凰 城

時盛大に開催小學校の職堂に於けたが去る三日職能小學校の職堂に於けたが去る三日職能小學校の職堂に於けた、一世に逐期されてあたので別重デーは天侯不良のため十一日に逐期されてある。 と作合し随る感迷からと

が大なる心裏を催し

「私の海が意に世へて、皆お出でよったの海が意に世へて、皆お出でよったの妻をも呼び で脱の寒をも呼び

その夜二時過ぐる頭、人の動門は、大きな脱ってい、三十人は町の製所に待め、銀って置き、三十人は町の製所に待め、銀ではこんなしやすい仕事はない。 ではこんなしやすい仕事はないので、女はこんなしやすい仕事はない。 ではこんなしやすい仕事はない。 ではこんなしやすい仕事はない。 ではこんなしやすい仕事はない。 ではこんなしやすい仕事はない。 かんはめ、妻夫人の塾にいつた。 ではこんなしゃすい仕事はない。 そこには弟嫁ならぬ、交触の裏にもか、妻夫人の塾にいつた。 なばらっていてある。

妻は、

生米もご使になってしま

たのではかかさがし、なられまでも 此のあだか報はれば死んでも死れ いやいや、せめて仇敵の裔の奴

娘さんは大きいのに一杯、娘さんなりないたとかないことは娘

破った女……ああおれは何うすれっぱそれ切りださ、衆嫁のこさについて言ったが、あれ自身がもう

山浦氏

結婚披露

娘は少しも酒がいけず

酒がいけず、小さいの

美人の解態は一人情かそころもがかつばらつて寝てゐる。

ありかか腰でうさ決心するのであなごと自問自答の末、せめてこのないあるうちだけでも、焼き寒のばいんだ」

唐木 細工製造販賣並に修繕 宝橋安急調が関土地帯収入確質更 「発表の最地あり無人の なこまで、 電話六〇四五 阪 本 電話六〇四五 阪 本 電話六〇四五 阪 本

んさ飲んだこきょて

日案内

不用 品幣

電六八四一番

品親切本位買受

殿町七九番 · 大 谷 商 店 ・・・・・・・・・ 大 谷 商 店

貴野町 一萬堂電社

算盤の御用命は

も五六杯やれば酔ってしまふで

て披露変を鑑りた

の見激りなうけて赴低した の見激りなうけて赴低した 職職というされば官民有志は十日午後六時より配照館に於て送別會を 後六時より配照館に於て送別會を で理さして時上部勘判派長、智祭 で理さして時上部勘判派長、智祭 が小派 樂脈につき在住官民有志は十日午風城縣長佟玉爆氏今回黔原縣長に 探護、後駆長の謝許がありて願る 

合理ではないかどの意見

實業協會

順

泥棒も影を潜む

坂元巡查の盡力で

得利寺の平和境

二十年記念

あす盛大に學式

春 會社の後塔供樂部では十二日午前九いから庭城和會を儲した 納會滿洲棕織

會さいふ社際法人を組織する其の を記分に限る二百十餘名が復興 大名配分に限る二百十餘名が復興 は、本記分に限る二百十餘名が復興 は、本記分に、本記書の を記分に、本記書の を記分に、本記書の を記分に、本記書の を記分に、本記書の を記分に、本記書の を記分に、本記書の を記分に、本記書の を記分に、本記書の を記分に、本記書の を記分に、本記書い を記分に、本記書の を記念された。 を記分に、本記書の を記念された。 をこるさ、 をこるさ、 をこるさ、 をこるさ、 をこるさ、 をこるさ、 をこるさ、 をこるさ、 をこるさ、 をこ 居住を者に配分され 在住職工業者が至った。 除から六十圓造配分

軍隊には

公主演の神 

哈

繭濱

東鐵電 滿解 話移管 決せ

電話は全部支が 那電話局の管下に瞬 表の會合により討議 その範圍さ移管

満解決するだらう

廻り金子はもこより な髭の室中かさがら れも猿轡して輪にかれた後野して輪にかれた人と対性の作品があ、特別にこれだ人と対性の作品があ、特別にこれがして 妻の首飾り衣服の類

姓名在社は一个人

金三拾鎌増

白帆

他印に限る 紙は に限る は

天帆、高級純生漉む使紙は

名刺、スグ出来まず。電話八五九八番

番です

男子は後五日鼻高くと

作

の始末、妻の召使の かによろこびながら を部をひつさらつて つたに違ひないさ、 なく跡台渡さなって 後が明けた。 ものは家中のもの 被雇

女中 數名入用 整城町福田屋金物店電三七〇四 女店 量入用十六七歳 何業を不問にいる。 姓名在社

女中 が 電四五〇〇番 では 日間一一三 島 古本 河島ミシン店 ン新

市內但馬町二〇 文那 開教授會話古今文尺體時 尺八 明音流尺八数搜 天津 ボーズ 天榮堂

アツミ醫院





中書 邦文タイプライター印書 邦文タイプライター 日書 邦文タイプライター 日書 邦文タイプライター 曾証 一番 アラロ 一番 一番 一番 一大山道 小林又七支店

御一報前に多上数でします。

振津町八一 赤羽 電五〇一九 振津町八一 赤羽 電五〇一九 安信 (東東州新)一日一圓 (東東州新)一日一圓

電話七八九三番へ

冷木丈太郎 電話四六九二番 给木丈太郎 電話四六九二番

鈴木丈太郎 電話四六九二番婦人 病人リキュウ

家博 お灸 解ハリ灸専門族院 電話六六八八番へ 

を 
大連劇場解根本選局電セス六二 
大連劇場解根本選局電セス六二 
大連劇場解根本選局電セス六二 

クサ 及胎電の特効薬有ます 一三八七番一三八七番 電話八二〇三番 〇四九番

鶴見爾科爾院

をまできらわれた。使さいふこさでまできらわれた。使さいなこさにかりで知らぬ他國においてきばいかりでした。そして自分は時際に七ばかりで知らぬ他國においてきば 鑑かつた。辨にたった十層やった。 自分の非行が、走馬槍の轍に駆ひごん底に行きつまるさ、今までの 生活の 五斯タンク裏 平家貴四五サッ **貸家** 恩龍墨八六、 て二人住

へ便利なり

配話三〇四九番

(日曜火)

價藥

一五三二 十十十 圓錄錄錄

アット云ふ間にスク

或種猛獸の膽汁中有効成分が膓胃の機能促進上缺くべからざる靈劑たるここは最近治療 界の新學説として重きをなせる所で自在堂藥化學研究所ではこゝに留意し研究多 年斯學の權威藥物學博士石津利作先生の發見にかゝるガマイン成分含有物 を加へて臓器療法を完成し得た、人物印腹痛トンプク即ち之である。 腹痛トンプクは胃中に入るや直ちに溶解吸收されて著大の鎮 痛作用を起し特異の効力を以て膓内の毒素、異性物を 驅逐消滅すること神の如く如何なる腹痛でも本 劑一回の頓服で忽ち治癒すべく家庭常備

大阪市東區高麗橋一丁目

樂さして旅行携帶樂さして缺くべ

からざる救急薬である。

けなし丸本舗 大連市浪速町三丁目 西 编替大阪一五七番電話本局國三九三番 自在堂

サンタリンは東印度及びマレー群島に産する白檀科の植物より抽出した 分を最も合理的に結合したもので之を内服すれば直に膓粘膜に吸收せら 自在堂薬化學研究所長薬劑師西野信一氏が創案にかゝる治淋内服最新薬 れ腎臓を經て膀胱に至りこゝに於て一種の化學的分解作用を起し强烈な 主要成分及び南米諸島に産する決明科の諸種の植物より抽出した主要成 疾患に對し殺菌、鎭痛、消炎の効本劑の右に出づるものなき優秀の作用 を發揮するのみならず断じて副作用を起す虞れがないから各自心を安ん る殺菌液を變じて尿と共に排泄せられる故に理想的治療劑として淋毒性







たて自在に適應疾患に應用し得られる。<!

伐 理 店

日本賣藥株式會社

羽の手入に忙

中央公園事務所で

づ我國民

0)

成立を

來る十七日、國際放送に先つて

水内閣書記官長さの間に打合せ中である 整原外根及び財部前海根が打揃つてマイクロホンの前に立つ筈であり、目下放<br/>
當日は感像物成立について國民への報告さその後援に感謝の意を表するもので<br/>
當日は感像物成立について國民への報告さその後援に感謝の意を表するもので て質現する筈であるが、それに先達て來る十七日融警祭の警日十時ロンドン條約成立記念の國際放送は試驗成績もよかつたので養々舞

拱日 に汗を握る接戦 と伏見臺とが 八十三點を得て伏見臺第一位 聯合競技盛大に終る

十三日午後三時世分昭市内信息町大工工番地支那人雑貨果物商融をの築物店ますや事小棒資果物商融を力度告載に土井満物店の発達が大選手は事場より發火乗事後に土井満物店の発酵では、計一棟四戸を焼き締局配金を大選が、 信濃町の晝火事

一棟四戸を焼く

炊事場の不始末から

帝展四部人選發表

島德

蔵詐欺の

たものである

阿部

の公判

日本書あす發表

二〇機関手田高珠(一)は去る八日朝鮮全継南洋生れ當時市内警監察 密航鮮人送還

取らた阿部教権に係る路敷事代は、原の特別譲解かりさて阿片郷下から三萬圓を語がりらこ、西川を開かる。

は、、 これは滿銀社員が若くまた親兄弟、 なる滿 職くべき動字を理してゐる、勿総 なる滿 職くべき動字を理してゐる、勿総 なる滿 職くべき動字を理してゐる、勿総 なる滿 職くべき動字を理してゐる、勿総 なる滿 職とべき動字を理してゐる、勿総 なる滿 に、 これは滿銀社員が若くまた親兄弟、 いに産みまくる 八名(撃一〇

ば

社賞の

男は廿九歳、女は廿七歳の時

六、七)さなつてゐる

取である、それから級い下り坂て 八名さ雕造し廿九歳の百十名が經 「大名さ雕造し廿九歳の百十名が經 卅五歳が九十二名、四十七歳十一 瀋海線で旅客

展東京十三日登電通 出場 際土部 大綱分削装中の歳十二日午後継去 た病分削装中の歳十二日午後継去

謝近火御見舞

さ(會賢四國當日持分のここ) 大連三電縣教育祕察團一行の歡迎會を 十四日午後六時から泰華櫻に於て 開催するが、出席希認者は永順洋 附近了会社、出席希認者は永順洋 では、七九三)に申込まれたい 赤塚、電八七九三)に申込まれたい

專六男走市跳 一等線田(日)四米

フィールド之部

二十四對三大俱大勝 職、存は千要縣の他の経験が で持続家庭中の他の経験が で持続家庭中の他の経験が で持続家庭中の他の経験が で持続家庭中の他の経験が で持続家庭中の他の経験が でおります。

日英ラ

**式**戰

等當選

た得賞金百圓な受與 慕した處カナダの學 グミ日本さの関係に 一市
記能の英文
聴賞

地主の立毛差地の では、一般などの では、一 農民陳情

『岐阜十三日登電通』十二日午後 中中十五分野岐阜船津町学今町 一時四十分野火し水利の便融しきため四十一 一度暗描等八萬圓、人畜には破害 たが同町は昨年五月の天火に遭び たが同町は昨年五月の天火に遭び たが同町は昨年五月の大火に遭び

見

中南海武徽會支部の本年度進級試合 は十三日午前九時から小開範士以 下支部教士の歓呼にて旅艇第一中

屋出張所

類燒御見舞

人

鄍

類燒御見舞

内六

豐

文

堂

張

類燒御見舞

六

商

店

武德會進級試合 謝近火御見舞 彦

り本月末まで帯線作業を休止する 機械に故障を生じたので十二日よ 青木徹二氏逝去 タンパー故障 謝近火御見舞三根眼科醫院 謝近火御見舞 謝近火御見舞 謝近火御見舞 謝近火御見舞 謝近火御見舞辰巳屋出張 謝近火御見舞 一六 饅 頭 謝近火御見舞

カフェーブラジル

火御見舞

資

堀宮橫山山

文懸賞論文に

競技参加希望者は市内各自戦車店。 また場内には湾、おでん、しるこ

船津町の大火 四十五戶燒~ 謝近火御見舞 謝近火御見舞水 謝近火御見舞 謝近火御見舞

謝近火御見舞 意 明 見舞 謝近火御見舞 谷恒之助 類焼御見舞 近火御見,舞 近火御見舞 近火御見舞 N 出 洋 醫 張 所 行 院

文部省が 野球協會 關係者協議會 設置

連丸に潜り込み機械 後上戦概に出たされた日青島螺 版があるので十二日 でて大連に送過され

明徽学島玉、性味過費が要車を設してより、近州に押送の単定で、水上署でり近州に押送の単定で、水上署で

楽ねが其の智僚り乗事には

大の官僚り判事に限へ置く

関野球融會又は野球ない。文部 今回愈々大陸の準備の中備

共犯

一谷の満鮮武者修業日程は左の如流 は野郷の畑くであるが、同選士

200

が、特別の大変の大変の大変の大変の大変の大変の大変の大変の大変の大変を変変である。

獨立共産黨の

京都武德會軍

試合日程決定

三萬圓の 大学 支那版の鮮人が 支那版の鮮人が 意にある一味の

でその実践でもこて北代李ご宝(\*\*)にて北代李ご宝(\*\*)にて北京学が連帯できるとで、「世界学が連帯である李

横領犯人 豪遊中捕はる

支政策の

在支英人間に叫ばる

素人自轉車大會

謝近火御見舞

謝近火御見舞 川洋

一崎硝子店

謝近火御見舞

來る十

九日に

【大磯十三日餐電道】神奈川縣平 窓の花棚界に本年八月以來出渡し 家の花棚界に本年八月以來出渡し

土木属に臓器中同市の牧野プロダクション會能跳長職井君雄氏からからの土地五千坪の買収轄まれたの上地五千坪の買収轄の大地を開きている。

のみ許された文脈は廿二日駅延

商大生が

八いだバック

の部人久原前感性は投除孕精榜 いの部人久原前感性は投除孕精榜 を出近した。公野は値に三十分で で出近した。公野は値に三十分で で出近した。公野は値に三十分で で楽る十九日午前十年 で楽る十九日午前十年 で楽る十九日午前十年 社(大連際別委行所)を歌合主艦 デウンドで第四個自転車大會を開 を取るすれ日午前十時より實業/ で変る十九日午前十時より實業/ デウンドで第四個自転車大會を開 で変る十九日午前十時より實業/ 中心せなるだらう、自転車大會を開 中心せなるだらう、自転車店はい かまでもなく客歌店の賞品寄贈あ あまでもなく客歌店の賞品寄贈あ に直義が、自転車店はい かまでもなく客歌店の賞品寄贈あ に直義が、自転車店はい を表するだらう、自転車店はい を表するだらう。自転車店はい を表するだらう。自転車店はい を表するだらう。自転車店はい

謝近火御見舞 然山商 謝近火御見舞 謝近火御見舞 城屋白米店 米山商店 \$ 酒渍 澤

日本各地名産 東京胡荻堂 あられ各種 英味、滋養、即席 天中ートカレー エ 冠 カ レ 1 界 東京風菓子謹製 各 图 酒 おすた版特選のお金 即應級物の事 珍 物 00

山下北京 一日の一日の一日 が行関人を出して居りませんかるどうでお電話で御注文の穏を順上けます他に支店や出張所を持つて居りません御注文に應じ御届け致して居ります 連鎖商店街に靴と履物の店 **於建調電腦清水履物商店** 價格もお客様の御滿足を願ふ樣 確實なる製品をモットーとして に努力して居ります

世のグルグタゴー

(33) 器原 絕對安心 Q松下製六Oワットン お好みの温度に自由に加減出來る 便利で經濟 コタ 金四圓 戴回月賦

湖近火御見舞 信 伯 祐 義 謝近火御見舞 6.65五0 一個見舞 激近火御見舞 作 伯 祐 會社 正隆 銀 失ノ旨屆出ニ因り爾今 和昭五年拾月献日 八號八十八號

人は信 Ħ 雷皇無

品 樫<sup>在</sup>

一件木真

の大連汽

船出帆

力の減退、心身の衰弱に

代理店 松浦汽船城會社

十月志山架時

000

すかしの

漢野さんが競女があ

機能をする。

でも、いつかなんか、いつそ身が、、今天かうして運動さんからそでいましていましたけで、今天かうして運動さんからそでは、今天からして運動さんからそでは、 いっかなんか、いつそ身

勝眠をする。こんな概念になって 鑑点を吐く聞もなく、髪と女は

なさ、ピールか何かをさりに際数 ~ あさ、ピールか何かをさりに際数 ~ さ。演野はふり返って呼びかけ不二子さん?」

開報を決ぐ者(五)でせうが……」

「本二子は紫知ら口臓をして、他になれば、誤響は姿の様をあり向いたをの容を強野さ最く遠ざかったをの「なれば、誤響は姿の様子をしないのである。奥のスペシャールルのである。そして、このメンバーに加はつるを変更に、自分と京子さの配機をできる。そして、このメンバーに加はつてあるが、本の会域であるが、一大の自由意志によるが)その会域であるが、本のであるが、一大の自由意志によるが、本の会域であるが、本のであるが、一大の自由意志によるが、本の会域である。 できれるさいふ規定になってある。その時に マッナップをやるさ、その 間か二個のチップをやるさ、その できれ、 深ち付く 水が、この會鼠の今階、 深ち付く できれるさいふ規定になってある で、この含型の別に、最初、普通で、この含型の別に、最初、自力固さかの含型を纏めてゐる。で、この含型の別に、最初、普通で、この含型の別に、最初、普通である。その時に、その女給に一

区大阪商船 山帆

音林 伏 墓 音林 伏 墓

中の音も我が身のつまる程にき 小腿めた夜晨中の音近ふ聞き 小腿がた夜晨中の音近ふ聞き が上げ中の壁

↑ 第行【番山東十月次日 中前九時出眺】 唐祖東十月次日

さ、京子は総に身際の自由がな ち運動の腕に打船した。 ち運動の腕に打船した。

滿日柳壇

「虫」

お気にメンバーには肌はらないや





東級店 九二 商會 電話四二六四。五八八八

M

榮養不良

肺結核

羽 腺病質 産後に必適す。

醫家報告書通呈す。

● 異、神戸、横濱行 松江丸、本大山 出机 

開加器批

三百四十餘 醫學博士により

秀なる製劑なりと推奨さる。

根本的に强壮作用を營みます。故に精力増し榮養を補ひ、新陳代謝を佳良にし、ポリタミンを服用すれば、著しく血液を

ず用ひらるべき補血 滋養 强壯劑です。 の減退・心身の疲勞・衰弱の恢復には必

液状(電)ポリタミン 五〇〇瓦 (四個五十銭)

可朝鲜虾









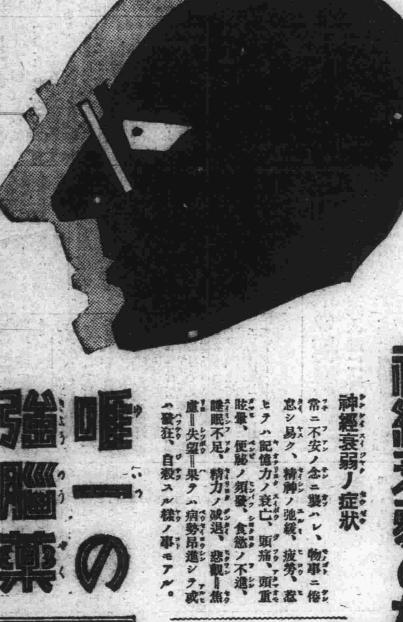




胃腸心害での お被とはフ

OO SERVICE OO SERVICE

新聞の配達上の御用命は『明三日(夜間及休日)ニー三一四番 間)四七六七番









神経表弱の根本的治

根本的治療八



製造元 大阪市場上町 大阪市遺修町 經武田長兵衛商店 大五獎業林式會加

の財政を整

奉天派の意思表示 蔣派和平通電 2

時局解決上注目さる

一般の家があった。そこに大連をその時分、大連湾島町の一覧に

前で、失敗を報

の久限の官賞元を世話したのも \*\*盤の大塚地事は、これらの人 \*\*な大へん可愛がつた。孫女へ

「おいあれば窓世凱の廻しもの

の奥地で革命を一度解介石が使

の孫姓の命

満州革命は張传郷の頭服りでごあるのである。

るさなかった。

音は可成り過激派だったこさも

日事を忠野にしてくれて居た。

れも二た昔の夢ですれ」

走

『北京十二日愛電通』配、圧、壓三氏準名通電によれて響天脈、北方脈、南京派間に和平倉鹽を開きてある、右に壁し群穴石、張墨良駅氏が如何に飛するか略しても、右に壁し群穴石、張墨良駅氏が如何に飛するか略しても 張 墨 良氏の意思表示はてある、右に壁し群穴石、 一個人獨裁の資を負ひ下野すべきであるこの意味を含めたの機能がある。右に壁に解えるが同時に今後政治的解決の大勢を支配すべく重要融されてある 組派、西山脈が結束を墜めてゐるは恐

和平會議は北京で 単質で和平會語解能は解天振し赞成してゐるので北方派の希望通り北京に開かれるであらうさ 國民政府施政方針

奥地へ水産物の

販路擴張が必要

内地からの進出非難當らず

小濱漁政課長語る

蔣介石氏五項目を發表

河北省、北京の 

丁二日發電通】 國民政府發

が算閣議には

出席可能と思ふ

イツの滿蒙鐵道投資は疑問

駐佛日銀代表齋藤氏の歸朝談

我輩は豫告なしに僻めぬ

宇垣陸相配者に語る

地方諸問題 意見聽取

にもや静職問題一の別程に関根を訪れるき触ら増収を選り、

に投資する絵格をもたず傳へら続つてドイツの如きは一層財政経つてドイツの如きは一層財政投資する考へはないものと思ふ

の借款をなし苦嬢を切抜け 如き時にドイツが感覚金の支郷に國際銀行職より一億二千五 さしてはだゞドイツの財政駅への歴史の財政影響から或る條件、申込には聴ぜの模様で、フランスの上一二日養電油』ドイツ政 して現底においてはドイツ政府の

不全く無經驗

米價を一

職係総は十二日正式に順取された 日、土通商條約 十二日正式調印發表 な います かいてドイツが如何なな かいてドイツが如何なな かいてドイツが如何なな おいて アスイギ

正に伴ふ事務分 本が大く分雅して実低を重かます。 事が配は一般の形であるが、新殿 では、本学戦は一般の形であるが、新殿 であるが、新殿 であるが、新殿 であるが、新殿 であるが、新殿 であるが、新殿 であるが、新殿

電大電源の表面により決定しよる都長の無限に対応による都長の機関は20で生活を担め機関は超るでは、20世界の表面により決定すべく特に関係なう歴り船を観て数の表面により決定すべく特に関係なりに対応しまり、 事が夫々分撒して責任を買ふここ の都合上後避しさなり目下候成長に決定すべきものであるが事 低を待つて重役會議 滿鐵沿線の 販賣狀況 三溝銃鐵課長談

清鏡聴頭部跳鏡殿々長三鷹文三氏 は本月三十次頭線、郷天、橋口等沿線 を地の聴館展別を勘線、七二日夜 が調では世用展を除いては約一 馬側位もか剪欄にてあません。個 ち面白いお話も出来ません。個

大連館費市場の監督は代州監協の 市長に荒水陸航の質問に新し今年 市長に荒水陸航の質問に新し今年 中是非質現すると言則を繋へた程 のようでは、大連館費市場の監さされが 市に旅でも目下駅館さなりよれが

を取入職難の減敗の関比をなすも を取入職難の減敗の関比をなすも であるものでは在影界の不 であるものでは在影界の不 であるものでは在影界の不 であるものでは在影界の不 であるものでは極いではない。これが明年 であるものでも既勝されてある の機能を見続ってゐるもの×やうの機能を見続ってゐる、師ち昭和四年度に数年(五年)機さして契約された確認の費上高に比較して、昭和五年に数年(六年)機さして契約された確認を一次年)機でして契約された確認をして可なりの機能を見続ってゐるもの×やう を調査三郎氏は安る十一日正式に を調査三郎氏は安る十一日正式に を調査三郎氏は安る十一日正式に 市社會課長 長濱氏 あす正式發表

政理事部長の

汎なる先決權

近く重役會議で決定

になる模様である 出張不在のため静令受付は十四日を響であったが、田中市長旅順に

卸賣市場問題 意見交換 市長關東 應訪問 大戦時代の健時子堂であつて戦工。 性友にも残風が傷ツと並つたさ 下野すれば天下は紫平になるのだい。一層のこと、あらゆる無関のなっ一層のこと、あらゆる無関のとは、あらゆる無関の には及びいる。 十四日(北の根) 着後 大樓 日





に瞬の新築案

獨の借欵を拒絕

側回收難を豫想

りれてるた新製大連 製造集製食機は十日 の極速を設めてるる意味らしいから に基心膨脹されることである。 に基心膨脹されることである。 には過数能で想数となったったが大機と数と新製の がスするだらうさ観機されてるる。 がスするだらうさ観機されてるる。 がスするだらうさ観機されてるる。 がスするだらうさ観機されてるる。 がスするだらうさ観機されてるる。 がスするだらうさ観機されてるる。 がスするだらうさ観機されてるる。 がスするだらうさ観機されてるる。 の機様である。 ける重役會議に附議

ましたし、 大いで内地管制が解へてぬる鍵間 が成り上について話しをすゝめるさ 満級の鍵を除外して日本が鍵間 策を論するこさは出來ませんし 関税を上げるからさいつてすぐ 高洲の鍵も同一に扱ばれるさは

お上りの地方長官、個別能に安

通り一選の地方官會議によるこさ あの泉のやうな駅ではあるまいが を態感した好く推するは能目だっ 歌舞の職情だからさて何らか秘釈

萬七〇

支那では発





連した水産大會出席の一行

して、観学良のか

さいふ人である

がいませんである。そこを中心に沿い乾燥を付 る。そこを中心に沿い乾燥を付

(R上、解、就なぞの若手を大連この時分のごとで、それらの関

つい短遊でのこと、北京のある

0

生(萬磯理事)には御戲になり

--- H H .--

亡くなられたつ!

運動の手引を

郷造して居るが、勘

若者がたえず出入し、みんなの。 をの難島町の革命の基に、膝の をのする。 ロシャ農民の 

東鐵從業員數 露支折半は實現 よび網太人が多いさ

《ハルピン特體十三日經》路文正 名は十有餘年の東端生活を都した 書の娘力を承認することに決定し 解職されるので正式倉屋の成立と たので支那國籍を有するロシャ人 その成代には目するもの強く、紙 は全部解職される運命にあり機称 目臨近職助の鳴ば東殿は廟立團経 単のニコリスク、秘書ニルサッゴ 者により挑唱されるに致るであら リフワ、パーリン接師その他十数 う

二重國籍者全部解職

明年は増額豫想 買氣は漸次恢復し ● 門部水産大会出宿のため来連 ▲一ノ宮銀成氏(日本鹽樂會計事 等)同土水連 ▲川原林頓台田と ◆ 大学秀氏〈北京扶桑館支配人〉 同上 支配人〉 同上 ▲梅田潔氏(崩鍼株主會理事) 同 前彦二氏(海務局庶務課長) 港うらる丸で着連 氏へ開来廳經理課長) 同上間治生命保險

滿鐵炭販賣收入



次長の職務も決定される答

「た金であるのが多い、黒神から 州黒龍州に出て撃支國域に近く逃 人らは強くシャリーから緩々涨害 大を強であるのが多い、黒神から が、黒神から

國外逃亡者激增

のなべある、本年の総状期にはいのさへある、本年の総状期にはいいるへある、本年の総状期にはいいるである。本年の総状期にはいいるである。本年の総状期にはいいるでは、本年の総状期にはいいる。 村から水るロシャ師化のドイツお 1:

脱稿を見るべく全部で百覧の大朋。 がはなりますべく全部で百覧の大朋。

東代不朽の全集を発表を表現した。

字中講談全庫 全十二卷·一册一周

金を認めった

日滿聯絡會議

13 戸職出席者は十二日二十時 13 戸職出席者は十二日二十時

の下打合せな際にするさころあっ の下打合せな際にするさころあっ の下打合せな際にするさころあっ

燈の好く確るものである。現在

東に、答要語にたづきわつて居 あが、こんなこさか思ひ出した ちざんな感慨に入るであらう 時三十分着列車で水運することに時三十分着列車で水運することに

露亞經濟叢書

愉快な全集

大鐵傘を揺がす

梨本宮殿下を

總裁に奉戴

全日本柔道選手權大會

大連小學校兒童總出で賑つた

けるの聯合競技會

戦事館前庭を選場さして なる。、なほ事性の残骸に は歌部補に、膝田氏は遮 がしまれその葬儀は十二

満蒙や支那に

電視材料の宣傳

懸賞撮影會まで開催

ラツクの部

民)の不要にます~ 弱つてなり 特別隊及び若代の支那巡覧によって先づ維持されてゐる、しかし龍

公判に附され

祭制品事件

本期職政衆において「総然國際品の を対すエンタル認識工業會社では を対すエンタル認識工業會社では を対す三日人港うちる地で同社では の成立に一歩を避けてる 同氏等一行の来連は単なる のの必要を が、更に一歩を避けてる のの必要を が、更に一歩を避けてる のの必要を が、更に一歩を避けてる のの必要を が、更に一歩を では のの必要を が、更に一歩を では のの必要を では ののでを のでする。 では のでする。 のでは のでする。 のでは のでする。 のです。 のでする。 のです。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。

今年既に五十

八件

十名に達す

マピストルのうち 大物輪事代で世の融融を集めた小さ見られてゐるが 四十名で、このうちには未曾有の四十名で、このうちには未曾有のの一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、

で見られてゐるが

山崎職治ほか八名の擧鏡

全集」程職的いさいつても「軽焼職器」とれが全集界の機能にされても「軽焼職器」といっても「軽焼職器」といっても「軽焼職器」というでも、一種機能器

聯合會生まる 全滿洲寫眞師

事さなり大連同好者間に評判になってあるもので木村理事は協るもので木村理事は協るした、 窓道病は今やその本流になって本君のでなりになるとので木村理事は協る

だった。人は今は被人さなったが自然界の 歴人機等の政育感の祭中さして知 二大正人年二三月の歌る日 学生であった

e後藤伯の訪問に對しては



外國人の

お客に限る

ホテル業の元祖

共産黨の迫

害から教へ

壓迫と

間島在住の内鮮各團體の叫び

悲壯な領事館葬

別によ三峰に集結中の象が動物で、要路に陳間を徹底師に数の際は、共産黨の外務の背の別が同胞を徹底師に数が、要路に陳間電歌を観音がある。

を 質は 現に選換されて は 現に選換されて は 現に選換によって得る な 質は 現に選換する 間金 ご 表 で は 現に選換されて

ンでも五十五萬國に上つてあるの一位の始末に及んだものであった。 ある松内鶴太郎一味のペンソイリ りひごく��賢されたのを懸い

って紹覧を繋されたのを歌観してので紹覧を繋が出するので翻覧な文舞よいにして即分より三談と手である

自分の夫さなる許婚は常時十七歳

叱られて悲觀 少女の自殺

許婚の男を嫌ひ

に努められんことをお使め致します

開版のコリ

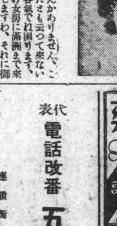
人體にも油をさして

内臓路機関の運動を促進するので

にしたの容素を速やかに排泄して

りを和らげ解みを消し、疲れを確して

なほ大佛氏は常分大連に居を定めるらしく切りに覚察をさがしてる 水を向けるといえ便りなんかありません。こちらに着いたさも云つて來ないのですよ、存氣でれ風ります。何だか押かけ女房に滿淵まで來た様な無がしますの。それに御嘗人の大佛は恰度ハルピンに行ってある留守ださうで、まあ歸るまでホテルに泊らうさ思つてゐるまでホテルに泊らうさ思つてゐるます。



表電話改番五一

機械の運転に油が必要である機に人

『妙布』があります『妙布』の作用は

門内職機関の活動を関情にするものに

血液の循環をよくして新陳代謝を迅速



見童愛護デ

營養保健講演や音樂會

の行流大下目 便 き \*\*\*

地生に對絶めせ損を

ウ御用命次療現品持参ソ

德前正河山林日巌盤本日見
301251263084六男二百米
804460131324五男二百米
176210330445六岁百百米
1762103330445六岁百百米
202260420179四男百千米
404381213253四女中跳
2617261736721211319441

計

在夫人「大佛さんからの御手織で が十三日入港のうらる丸で來た、 が十三日入港のうらる丸で來た、 が十三日入港のうらる丸で來た、 が十三日入港の名を擅にする大佛次郎

したる處を酷り「駅の好きは天好に來たので早速的はその日質

酉子夫人來連 けふうらる丸で

でこれらを含せると関単に織められる金観は蛇に葉大なものさ見られ、本年は窓に葉大なものさ見られてるので歌懇外の関単収入の増大を 大佛さんの 後を追ひ カ筋荷着御第四ワ

每六女走巾跳 一等淺原C

フイールドの印

かみゆ洋泉橋制装伽藤な

引立被下度奉願上候別立被下度奉願上候別で一段の飛躍を試み度候間何卒御後援御御客様本意の奉仕設備を完成一層の努力を 新店舗 大連市連鎖商店街銀座通 丁子屋洋服店 電話國六六二七番 大阪屋號分店 品 活

露披轉移爲 金四 金五 十五 (期日十月三十一日迄) + 圓 (時價七十圓) 圓(時價六十圓) 四(時價七十五圓)

あま酒品の御器金元酒店

では有田の御前・秋のこの盃、

マニラで養養し、直に同地市立機 サエリストである。遊奏旅行先の チェリストである。遊奏旅行先の

| 一日新職職会道像によって

◎福運者には拾圓が

意地と手限ふ自葉線味から覧さま があらうさも、船に積んだお溜を かんな飲み盛しても、決して酔ふ でしてはごさんせね。酒のお座敷。

ち、離りを手ばかり振つていたまとで、同じことを縁返ったまとで、同じことを縁返ったまとで、同じことを縁返ったまといいました。

たっぱい、今夜、始めて知りました

置、今夜、どなた差がなされまし

今夜、どれた選がなされまし

「まア田中さまも同じに、罪を励

ストウピン氏の客死

れえ、それ位の際に!だ

「恥ら、烙職しないわ。聞きしに

時る独々職者。そちがこんな飲ん だくれであるさは始めて知つた一 だくれであるさは始めて知つた一

十月十四日午後六時廿五分 ◆趣味籌座 (撃兵前後の傾朝)松 本雲洲 ◆音曲吹寄 富土松銀蝶 ●新内 佐倉宗吾子別れの段、縋 質吉之助 電吉之助 電吉之助 で高土松銀蝶 ●映画物語 末定、徳永天郷、仲 奏指揮、宮野顕

軟構

中野

で達する確實の効力を有する安全短時日に應用の目的に應用の目的になる。

金牌

京 JOAK

この通り充分に酸配

東洋の秘密 福逸ウーフア社特作品十巻、ウオルコフ監を離なセットによって映畵化し第四、五巻は美しい天然色でゆらを離なセットによって映畵化し第四、五巻は美しい天然色でゆられてある(帝國館上映)

パルフエ作

お

履

物

は

0

山

知禮與行大衆席 三十銭

0

『本・・・、 撤りも撤って、降れると同じくそちに財を助ぐわ」 「海か?この上、際は職郷数せ!

これくり難し……御兄なさ

一葉の勝ち贈る館が、塩のやう

電が決定な見んこしつトありまた 一般心臓の意味で常勢津調正會から 一次く來連の像定になって居る二佐 大夫師の子寶三番が寄附上職され 大夫師の子寶三番が寄附上職され

歌舞伎座藝題替り

便か調の触らないことを、ぶつする」 「傾か例もやつてござんするさア

でござしす。慶方四人が女一人の手はあなたお一人、一等打の勝重 お三人さも殿がの際に、 地のないこさでこざんし 出ると演藝 前人氣旺な

十四日大劇で 連日大入滿堂の盛況を観けてゐる 連日大入滿堂の盛況を観けてゐる 一番目 難波眼記(大序より重成 一番目 難波眼記(大序より重成 一番目 難波眼記(大序より重成 梅の由兵衛、一幕軍の井子別れ、一幕

「さぶふわけではないが、細者は

本がならず水戸を止めたが土曜日の如きは も始起がつかす。土曜日から日曜日へ もがならず水戸を止めたが土村際の もがおらず水戸を止めたが土村際の もがおらず水戸を止めたが土村際の までは、承知せず常勝の手で もがおいかす。土曜日の如きは といふ騒ぎよりな一日だけ日野の までは、今での歌られ 子响

-月十四日午後七時 連 JQAK

山本嘉文郡原作山本嘉文郡原作山本嘉文郡原作 | 山本嘉文郡原作山本嘉文郡原作 | 山本嘉文郡原作 | 山本嘉文郡原作 | 山本嘉文郡原作 | 山本嘉文郡原作 | 山本嘉文郡原作 | 大客 か 禁吹の難にあびし前科者 | 一家の家しき生活か書いた問題 | 小家田湾の蝦夷にあびし前科者 | 本語・大田 | 四郎 | 本語・大田 | 一部 |

於

大連劇場

〈〈電六四三六●三九三八番へ〉〉

옏

ターレコード一枚宛進呈致御土産として米若吹込ビク

先客(特等、

二十々に

す場合にも室内の温度を下げずにできます實に重實なが完全に炊け其上に連續燃燒が出來ますで飯を炊き蒸燃料は如何なる粗惡炭(混入セルモノ)粉炭にてもで飯

ビクターストープです

東寫時間改正を知って頂く賞書間 正一時夜間七時迄御入場のお方は 階下大衆席を 五拾。錢にて開放及・

水宏監督、北村小松原作岡田時彦、及川道子主演(ラムプラス)

〜 窓み吹ふてけふからお目見得 「変きしたこ言へば「いま素野から で変きない。 で変きないで、 で変きないでは、 で変きないでする。 でできるできる。 でできるできる。 でできるできる。 でいま素野から

「のマッモトはいゝさしておでんう。」のマッモトはいて来た、パーご喫茶がない。 文編人の資格がない

頃大連人でマッモトに行き

十三日りょ

邦樂研究會

準備するむ

(可認物便郵種三層)

窯



混雑な鎌根致し場所取りの方は 早し

毎日午後五時開場

(名連員座)

京壽春壽吉壽壽壽 本日々川々々々 山木亭 川 木 木木木 駒 吉丸鶴奴島若造奴

入場料 〇五八

000

當る十四日初日 四日間限り日延なし

田田 五四三二一等等等等 組と 九六九四貳 五〇 筋本本本本 本中の景品(短曲 発展和証件ける人が出) 誠鶴一升入瓶詰一本御買上の 御方に上等タオル一筋と 抽籤券を差上げます 釀 造傷

景

本ポマルチンの新変質 活力増 地、疲勞恢復、芳香美味なオポ マルチンは、陽西エー・ワンダー化學品製造所から和記洋行が 1000分がコールで取 でして入りである。 でコ、ア香味があって一般家妻 がコ、ア香味があって一般家妻 のようでで取 のようでで取

点 茂 生 洋 東京新富堂支部

滿洲發賣元

日

態

ビクターの

にきめた

四平街仁壽街

宫三宫矢製大近竹宫秋宫本盛渡和宫水福增河

旅順乃木町

八島町

每山北三條 **丹春東一條**運

幡氷利江島下山組

遼陽本

**导店廠店店店司店行店店店店店店** 

電話代表五〇六二番 大連市惠比須町

チの市優は飛ぎ安定せず各社は操

滿洲

の燐寸

に上り決議せるものは二十級似に たのである、大會出席者は五十二 たのである、大會出席者は五十二二

えし之を各版に適當分

瑞典系へ對抗運動

によって益々観視戦を増大せれ

サーないやうである他つて驚社の仕事 ・ 本振の持続さて健年ならば既に根 ・ 監 驚の出難りをみてゐるに擬らず、 ・ 監 驚の出難りをみてゐるに擬らず、 ・ ないやうである他つて驚社の仕事

か前にも言ったように際へられる を引、特殊 大いに際質すべきものであらう、 起さなつてゐるように際へられる 起きなつてゐるように際へられる

前月を前年同月 宝宝

五、000噸 百六、000噸減 新年同期一二 うご観測されてゐる 五六、000噸 五六、000噸減 うご観測されてゐる

交那沿岸航路は

盆々不振に陷る

居ることは自然豆椿の混合を杜響なものがあり、樹織に姿繁して 戦なものがあり、樹織に姿繁して 戦性の しょうしょう 日本内地であって、 配送しなく、日本内地であって、 配

海關の鑑定は

日本人と更迭

從來の不便は一掃

せしめて居るので、目下の所では

中央戦亂一段落で

支那汽船が漸次活躍せん

### 去年に比し著減 旬の 下旬に入れば激増しやう 鐵道輸送

石炭の滯貨は三倍

諸國十月上曜少國道監修登送機器 更に主要發送監修發送を確認に見し、 大型 一工、〇〇〇 四、七〇〇〇 四、1000 五、1000 五、10 

三北等の支那治難は発さ解析と
ない殴り、湿炭が筋につ、あり衛動されい殴り、湿炭が筋はつ、あり衛動されること
は驚然で特別の事情が避り投鞭し
ない殴り、湿炭が筋はつ、カリ衛動されい、湿炭が筋の事情が避り投鞭し しはせわかさ観られてゐる 表克稅 二、四九八 治岸貿易稅 四、四九八 治岸貿易稅 四三六、二三三 輸入附加稅 四三六、二三三 三五八 加州和稅 二、三五八 九七〇、四〇七

人を示せば左の如し(単位

にあるようである云文

卸賣物價は

九月も續落

前月に比し

られない低し木林の蔵出しは根密いさいふ陽像から左經の事実は見

見

美味

施を入れ、総成の振つたものを大 ・ 「原は原じてウントを強するさうだ。 ・ 「原は原じてウントを強するさうだ。 ・ 「原は原じてウントを強するさうだ。 ・ 「原は原じてウントを強するさうだ。 ・ 「の質行が大魔よい

十五八三四七〇八三

輸組共同仕入 **分六厘方** 

大連融工會無所調査九月末に於けてから、前月に比較深、之を前年同月に大連、一方大厘の低深、之を前年同月に大連、一方大厘の低深、之を前年同月に大連、一方大厘の低深、之を前年同月に大地ですれば一割二分九厘の低深さない。前月に比較深を記せてある。前月に比較深を記せてある。前月に比較深を記せてある。前月に比較深を記せてある。前月に比較深を記せてある。前月に比較深を記せてある。前月に比較深を記せてある。前月に比較深を記せてある。前月に比較深を記せてある。前月に比較深を記せてある。前月に比較深を記せてある。前月に比較深を記せてある。 、綿布晒木綿、モスリン、鶏卵

特産出廻りは

今年は遅れた

支那鐡の收貨は左程でない

千秋氏北滿視察談

**鈔票受渡增加** 

た告げたが、受渡も高は二百七十十年限受渡は十一日前場な以て納會大連取引所錢砂市場に於ける十三 

双然り雖る處官艇號に點する怨智 邦人の疲弊は擬だしい、支婦際民

今…滿洲の小寶界 にも報々さ優勝

伐るに伐ら

一月限 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7

は近に臨み、沈歳は三

麻袋變らず

株(强保合) 二一 月月月月月

花

**診票保** 

在 | 限限限 東 | 限限限 | 京 | 前

奥地市況社

米

米

休日明の東短新東は十銭安に寄ったが北濱は大株四十銭高維新一個五十銭高維新一個三十銭高を示したので常市も氣弧く十銭高を示したので常市も氣弧く一大銭高を示したので常市も氣弧く上銭高を示したので常市も氣弧く 式

京 式

場聢り

### 食べて美味 林洋行の自慢の 將に羊羹は他の追隨を許さぬ をも取入れてゐるからでして如何に誤好がいゝか をも取入れてゐるからで 内地に襲じく送られるの 内地に襲じく送られるの でフメリカ三発までも つて祥行するのでも分を のたりから御覧上げの光

日油一三一〇百箱 (前日對比較) 日油一三一〇百箱 一箱

行き交ふ顔にも漂ふ れぬ悩み

木材の都

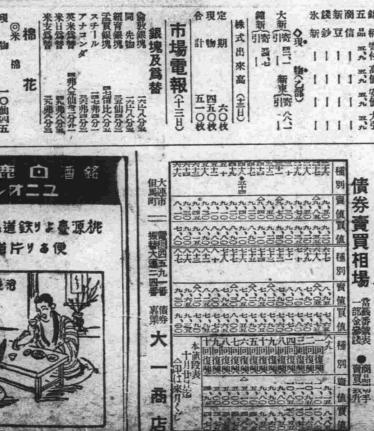
況介当り

肉類等の市場に脱盛を極めてゐる 作全駅駅の傾向にあるらしい、筒 本人は昨年翌時までは戸駅三百二 本人は昨年翌時までは戸駅三百二

未がに悪まれてぬるさころから はれてゐる、顔路を扱いて先づ興 との観察には質に豊富な城木が仮 をあくものは大きな板で張った

無成より日盛時限: 多に礎つて東三智院 達した、同大會の決議中は目すべ 連びに至った。この















開原(土月 RR)(六月 RR)(1 RR)(1

米



奉天の對西北軍關係

南京軍側の觀た奉天

國營失業救濟事業

愈は急速に着手

内相、實情聽取の結果

医療を持ている。 は此理論素した状態天態領事を重 のため本日地報した

打合せ
兩總領事事務

公平適當なる辦法によって

は大きなが十月波した動像に比ってして大きなが十月波した動像に比ってして大きなが十月波した動像に比ってして大きなが十月波した動像に比っていて大きなが、カースをは、大きなが、カースをは、大きなが、カースを

滿取の復活

和平の實現を期

政府も承認する模様

位段 位段 位段

社

說

既定經費の節約

ものは全

海軍費査定の方針

一、法律に伴ふ自然増年度別割増加質質上の經常費等真に已むを付きるものは出來る限り削減して承認す一、純然たる無規要求は一切削除し承認されるものは國家賠償法施行費、地租法施行費等に過ぎ

十二日歸任に際し

木村滿鐵理事談

滿蒙諸問

題に一般は冷静なれ

解を得た

僅かに三千六、七百萬圓にセッ、この結果承認されたるものは

谷條約國の態度を考慮

日民製鐵業の

台同計畫具體化す

來週合同案大綱決定

出に基き根密帯悪な査定を加へ表 るものであつてこれを変軍の脱穀しては置保財産中より複様に動じ る、配して大概賞監督一致を見てる根密額を のされつてゐるが、大麗賞さ の総パを要求する残なしさしてゐ

蒙古産の羊毛で

スコッチ地製織

内地當業者が試驗

記念碑建設

來る廿二日地鎭祭

関係官出席形論に入る智 関係官出席形論に入る智 関係官出席形論に入る智 関係官出席形論に入る智 関係官出席形論に入る智 関係官出席形論に入る智

玉皇廟激戰地に

【メリ十二日發電通】急進社會無 佛急進社會黨

國際勞働條約

ではするものであるさいふにある。 をルチュメニール氏の酸名決論をない。 で他派さ思想せざる事」の決議に で他派さ思想せざる事」の決議に で他派さ思想せざる事」の決議に

中谷局長東上 來る廿七日頃

松原理事語る

第三 新東(帝)

氣配變らず

無味閑散

常市弱保合

二品ポンヤリ

用務のため上京の鎌定である サゼ日頭の便艦にて鉄泉戦明共他館で事務打合せのため十二日夜北航で事務打合せのため十二日夜北

滿洲投資 東北省で

歡迎

况(十三二

空にした確子管の中を強い電視を 等類中の種有ガスか変して程ざ真 で観りのであります。これはネ

上げるここに致しますか、現代にお といだによって女字が表れる装置。 を関係するのでな字が表れる装置。 上げるここに致しますかの本が出来上る。 のでありますからなには電響の美元の本が出来上る。 を関係する。 を関係であります。 を関係であります。 を関係であります。 を関係であります。 を関係であります。 を関係である。 をしる。 をしる。

師ちまだ郷立し

でした。勿識この識面には母親も

連がプールの深さがあるの

て之に「これ僕のよ」さフランス

電なざに行っ マチュアが端 ででででである。

技術域は去月十六日以来戦唐歌 技術域は去月十六日以来戦唐歌

必ず御携帶あれ

消化と毒消し、惡疫豫防とし

歌音派館に 成列されるこさにな しこの程論楽したが は木林 は 満

つた▲三寒四温のけどめが高

交句は終始一覧して

殿告編員家の進品

學と

しての

廣告

とその實際

が果を要するやうにさ色々の新工 が果を要するやうにさ色々の新工

最近ボララサインさ申しまして書

大が考案態用されてゐるのであり

はやはり現代人の鑑合能、流代能 をもつからであります。美術方館 をもつからであります。美術方館 インで であるこれでするの理に密接な関係 作力にだがより効果能であります。 実際に添ふて 楽器 があっただがより効果能であります。 楽器 があっただがより効果能であります。 楽器 があっただがより効果能であります。 楽器

ります。 ります。 ります。 常器をいまで掛けてありました。 素機の子供がキャラメルか解かなが にフランスの編載ポスター にフランスの編載ポスター にフランスの編載ポスター にフランスの編載ポスター にフランスの編載ポスター にフランスの編載ポスター にフランスの編載ポスター にフランスの編載が表するが にしているが にしている にしているが にしている にしている にしている にしている にしている にしている にしている にしている に

を一つひれれ

しいデザインが撮

稻

米國婦人ド

はズルくした奴は向かないしてショルトスカートだ、は

マーロングスカートの流行

イスパニアのボロレ踊から

毛皮も新しいかけ方

認識は全秋流行のアメ

かけさいふ感じを理してゐるい流行のかけだで如何にも層

B 新原の総論が一部の道學者窓ではなく、少くさもそれが大歌でして低られるものである以上大衆の夢ぶるの、出来ることは自然

C

西通りあたりを歩いて見るさ

でであります。 ではあ日本の問題界を代表する帝都の大新聞話がエロ・グロ が事業を焼んで取ばしてゐるが でながれているが

A 翻君はさう

のものは、大衆の興味がそこに

は敢てエロ・グロばかりではなうにネ、子供に訊かれて騒るの 日 そのくせお父さんはエロ・ゲー はいるなのでである、が論▲君だけ A 假はいつだつなか、家庭的に見てたここがあるが、家庭的に見て もエロ・グロは全く迷惑な存在れことがあるが、家庭師に見て 「赤ちゃんはざこから生れて來 B 略骨な表現をやるんだネ だ、だが僕の呆れたのはステー て來るのがでやつてゐるここよりも認為 いこいふ 場内にひしめき合つてゐる觀察 A それは アージェ観察の溌苡郎だ、僕はス て見て來 で見て來 で見て來 し だがい 最も注意 D がある、満石の表型 のか見て來たが全くエロ・グロ ロ それもいっだらう、だがハル ロッカたりで裸飾りを暮んで見て來るのは教育観光観に最も多いさいふから全く皮肉なものさて見て來るに過ぎないさ思ふて見て來るに過ぎないさ思ふ たち、英國にある日本人に此の話をと を置かないさ陰鬱さしての監館が 「「株です、社會には三十帳の陰緩が 「大」で、社會には三十帳の陰緩が 用自動車の運輸手でタクシーの運 「掛は鞍獅さしても、深山の金からうお互に言葉を突へない、自家 のフランス人が「紫鶴者窓」、 ことは社會原常の根本問題だけ

于 激色教性

=+

「なのではなくて世様そのもの」に音楽を選ふ新聞や鑑論が心理」

0

だネ

させるのださも見ること

間や無論は世間をそのまり

総論されてゐる現代に於て、エルちやつた、あゝしたものが公 りカ婦人ドレス、イスパニア のボロレ師の厳髪を拠らたも ので黒褐色な上衣の色が緩ク レーブのベステーさいゝ豚和 る さら表面だけ美しく飾つて置け の 動育なごゝいふ仕事は教育者 で 教育なごゝいふ仕事は教育者

さすさ云って太郎のお母さん一 こん度はもつさしつかり勉強

があった時、太郎は毛工を出品から二番目で二人共三年生になった。三學年の襟學校で庭院會でも、標鑑らずのびりさびり というです。 単校でも続の近所でも不良点、 主題いことをして遊び、二人共 を題でも続の近所でも不良点、 **層きびしかつた、三吉のお母さ** 



为

けるの放送 支那語初等課 もある。 第十七課 秩父固太郎 積資

○ 申分の影を具て其の歐殿な姿 会さへして居ればいゝのだよ

教育者なんてものは生徒に命

育者自動が自らの行びを置むこれを変えるといれていまで来ると最後に残るものは数

A痛器に皮肉だ、

る新聞記者のあるこさも考へて

臭いれ

氣持の素晴しい

連鎖街の浴場

建造費八萬圓の新

経のに連 機のに連 が、接続

・大もた概違は ・大もな概違は を、光が一般では に がて 居り、

A さうだ、しかし教育者の中に は跳にエロの泄鑑を呪ってある

正口的事業の存在を売ってる。 で受れ で受れ で受れ で受れ で受れ で受れ だったらもいが共の筋の許可する だったらもいが共の筋の許可する に変素をして受れ につたらもいが共の筋の許可する にかまるになる。 にかまるにある。ことも若 にったらもいが共の筋の許可する にかまるになる。 になるになる。 になる。 になるになる。 になる。 になるになる。 になる。 にな。 になる。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。

絶えず湯が戦出

七十一間にナハ



ot-一六六 **严店** 

登山

必

登山……旅行… 季節來る。

0

来りて比単金内断度までは大人、内服要が注の注道さに失手傷を厭ふ人、塗布薬や洗路 粉業湊式吸癒療法 整な

代牛池上麵 代 华池上麵 區 平 前 上 通 平 取 开 面 平 取 开 面 平 取 大 通 面 来 取 大 通 通 二 和 平 加 上 通 通 二

科專門

古巻家常備連



なる處理法通常は、 技師木村金太郎著 及

東京本郷東片町七八〇

アルラ毛生法

見事に繁毛 特長「中産機能をは、一年の場合とは、一年の場合とは、一年の場合とは、一年の場合とは、一年の場合とは、一年の場合とは、一年の場合とは、一年の場合には、一年のの場合には、一年のの場合には、一年のの場合には、一年のの場合には、一年のの場合には、一年のの場合には、一年のの場合には、一年のの場合には、一年のの場合には、一年のの場合には、一年のの場合には、一年のの場合には、一年のの場合には、一年のの場合には、一年のの場合には、一年ののの場合には、一年ののの場合には、一年のののののでは、日本ののののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本ののの

を造って、二 うさ言つたら、ホントださいふの いの小學校の提生が、兵等の四 いの小學校の提生が、兵等の四

葦の鼈から

天井のぞう

お前の下裔はア

「全立の 熊の 事故」「全立の 熊の 子供けで

きに出蒙させて、こゝ送一継に來一立の小學院には一を別にして一等列車だけを五分さ 小學院に行くのだった別にして一等列車だけを五分さ 小學院に行くのだった。 ボール・ジョアーを目 中のヤうに

を車が繋いである、此の暖は一等の上を行くリックスの特等車がまいである。これが自由平等国の繋が車が起ってある。これが自由平等国の繋が車が起ふりなりまでからて中つたら、姚知り

て、窓兵が乗ったなら必ず緩るや窓兵のための優先席が設けてあっているの優先席が設けてあっている。

をも二等の客も艦車共に同時に運 んでくれたが、ドバーからロンド とでくれたが、ドバーからロンド

食堂車では東上の動器機械が、コに渡る汽車の襲れがのヒドイこと

って反って

小學院を爬て一蹶しながら事践かり、一人口九萬位の都市の等小屋総たる 無数音者ださあるのをみて、マサンの処きは、全國民の四分の三が

同じ机を死

輪轉 **農學博士小野寺伊勢之助者** 蒲朝神葵博

京等大路師林學士・下水島一門大小子名 精巧願九十二版人・內地学和男用的の新著一名種試驗法,評價、經定、分類等な最適確に詳述せる斯道和生面を開拓せ、等人の代學的成分と榮養分吸收の理論及應科と土壤との成分

果を學げる指針一業とを詳述せる劇別林業の革新的理一第一編には林木の編

は 外國の職会を施行すると村で一条の村で一番大きい政験はお完全役場だい日本の小學教育はお完全役場だい日本の小學教育はお完全役場だい日本の小學教育はよく普及してる。 富者の子祭も覚者の子供も同意など、

料金は大人が六邊、十五點がこう地の浴場の建造製は八萬圓で藤井 子供は三鑓だそうである 物変語デーを催む

そしてこの機

体温計

七の一町園元區町麹市京東

地蔵算開眼式

脚の二種にて振行は関本、荒木脚が出しが出し物は歌舞伎殿、

荒

は他の良民を傷くを漂れた野鹿、ここも出來なため敢然歌呼を背したで対案子を得られて、一世にしてアンを得て、一世に大平との苦痛……如何にして、大學から成功の頂、難騰本星院及び李鴻市内日進、て店内に震入し谷健既に紙付き盗い、一日くブル苦痛……如一世人之近常らんさするや前記三名で、一日、ブル苦痛……如一世人之近常らんさするや前記三名で、一日、ブル苦痛……如一世人之近常らんさするや前記三名で、一世の苦痛……如一世人之近常らんさするや前記三名で、一世の苦痛……如一世人之近常らんさするや前記三名で、一世の苦痛……如何にして、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大アンを得て、一句に大学の表面に関東歌は此の報に接し、一句に大学が写真となるセンセーションに大きまするから、一句に大学がでは、一句に大学がでは、一句に大学がでは、一句に大学を表するから、一句に大学を表するから、一句に大学を表するから、一句に大学を表する。

一般市民家庭に於ても充分注意さして、三日中には健康診断並に豫

中には健康診断が出より上水の検菌をな

不社寄贈優勝旗

新市街軍に歸す

舊市街軍の善戦空し

新舊市街對抗庭球戰

市街庭球

開催

たり民政署コートに於

二名の賊拳銃で

街

わが警官を観射

宵の

口日進街の兇賊

を要はどこも押すな押すなの を要はどこも押すな押すなの を要はどこも押すな押すなの を要し数年時代に聴じて態 でも

町のニュース

●政察二十九號室「原始人」何千年前奥山に住んであるかさ思は 年前奥山に住んであるかさ思は 中でなくて朝から晩まで見物人 のため木をかぢつて生活してあるいふ状況、李室で一番傑作 であっいふ状況、李室で一番傑作 であっいふ状況、安室で一番傑作 ででもあの人なら共に生きた いさいな髪し、合理しもつこ

會であった

曜で多數の人出あり盛競馬は十二日から開催

鞍山市場會社

廿四日總立總會

軍隊の送別會

▲山本第十六師團長 秋季瀬智の 日安奉線より過な社連 | ▲錣道省國際課長一行元:

二 一 四 一 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四

▲津田海軍少将 十二日撫順往復 同日熊岳城へ ▲中谷園東廳豎務局長 十三日來 泰

千山の紅葉狩

☆武富拓務省参興官・

十二月撫順

て市民各機圏代表者は十三日午前して財職した

間の配験族に本年もが新聞の配験族と独しくスコンクで戦いとのスコンクで戦いとのみに

一天で呼び城の一さなつてゐる滿

(四)

苦心の飾物拜見記 

▲その他『かやのすみつゝはずし ・ はよく出来でぬた。 ・ はよく出来でぬた。 ・ はなりて製料数室の展覧を燃料料 ・ はなりて製料数室の展覧を燃料料 ・ はなりで製料数室の展覧を燃料料 語、軍事教練、生物、新理等更に 出口において際源、音樂等の擴大 放響等あり午後四時終了五時から 放響等あり午後四時終了五時から

歲

大連以龍臺一井腰方東田ユ

佐賀 嘉永四・一二・九 大連日ノ出町三ノ三ノ一 中川 ケ 大連住町一五ノ六(高漢ナシ)畑



E

が大四・四・一三 古 賀 カノ 口印

大連岩松町二一大連岩松町二一

華やかなりも事よ 金

う▲如何に三〇年式さはいへ安裕 いたら総々選ざかつて仕舞ふだら がならのでは、 であってはないであっていって

涤毛赤. 毛马志

◆その電が代に、今度報じく 新小電が代といる新楽品が出来ました が電影が大彩的で、しかも迚もよく集まる ので各方面から熱狂的歌迎を受けて居ます 自然のまよの――累さ……美じさ―― 艶やかさに染め上げるのが―最も

新小

◇一度便つたら決して忘れられぬ種類的あら

君 代 が 8

新發 賣

(定價二十錢)

大連大和町三〇ノ三水井ファ 石川

八 大選重町三九ノ三一

一日巴町二五柳村

w B

吉林の双十節

被製は二十四銭 製 本一十銭銭

吉

林

君が代の誇り!

館木決 齒島 崎本 木村 第 館木 薗島 田井 14 Ξ **木類原 場上** 

一回戦

0

にあり

津山豐樹(工大)二米 林週次郎(工大)三二、三 林不二太郎公工大〇一七

自動車畑中に 級)維本定義(旅一中)三九米最上義滿(旅一中)三九米

突込む

ンの乾温をなら午後十二時三十分本帝國の萬歳を三唱してシャンペ 閉式した

秋晴の旅大道路

夥し

い太公望銃獵家

日曜で賑はつた

招待山遊び

花柳便り

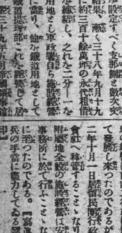
中 る十四日の西部水脈大倉で市長福 ・ ないとは、 ・ ないとは、 ・ ないとは、 ・ ないとは、 ・ ないとは、 ・ では、 出た新版は徳島生れで喜か子へで、旅師が聴しいので十一日から再び

離り、他介銀道用地さして地でも単文製館を施設を開きる。 とれを二分――を 定すべく支那郎さ数大変 百十餘萬坪の永代租

外郷人の影は飛さないさぶつてよ 兵城基地さ定まり、軍政を布いた 佐大原武慶氏で在伝館がに一年にあった、時の軍政官は陸軍歩兵少 兵站基地さ定まり、軍政を布 の六月には

安東縣開發の始祖大原少佐から 現在迄の慌しい發展振り 望月福太郎氏談 不休献 身的 (卅五)

に徹底を受験に掛み止まり降い



附屬地の移り變り 町の歩み

養特

味利能 が 臭い いい

を確認 ひ、味・ が、が、 快・無・

衛生・整備、崇教等至らさるなき、総生の鑑定し、清教を主きを確定した。 おばら立派だし教育、 馬馬が 行政機關の變遷からみた

長、伊藤地方係長、総島社會当事 単校、陸寮軍部等に於ける瞬市街 戦に於ては舊市街の勝組三組に黙 1 年前十時より葬祭場に於て撃 は低饿に使り十二日午前十時半か 試合ル滅じた、配じて本年は傾年 は低饿に使り十二日午前十時半か 試合ル滅じた、配じて本年は傾年 は低饿に使り十二日午前十時半か 試合ル滅じた、配じて本年は傾年 は低饿に使り十二日午前十時半か 試合ル滅じた、配じて本年は傾年 は低饿に使り十二日午前十時半か 試合ル滅じた、配じて本年は傾年 は低饿に使り十二日午前十時半か 試合ル滅じた、配じて本年は傾年 は低饿に放ける瞬市街車も何く強く第一回 に安東縣は我軍の手に歸し第一軍 で安東縣は我軍の手に歸し第一軍 を記されて安東縣に上陸した時は既 が明治三十七年九月陸軍者病院 が明治三十七年九月陸軍者病院 が明治三十七年九月陸軍者病院 所在の官衙學校會社號称者及び一て全舊市館医職大會を懸行することなったが出場査校者は富市街

総ち人口五千を超ゆるに至った、

審職職局を整備する等職目な一新 強力た、逆に於て中國官職は此地 では、近に於て中國官職は此地 では、近に於て中國官職は此地 署の廢止に

邀道艦の楽田を見、これが為め中戦間で於ても東 見物であるさいふ門蜆▲然しコン
見物であるさいふ門蜆▲さてごんな物が出来上るか
をの料理が一品短の注文さいふ歌
を大きて市長部
をい料理が一品短の注文さいふ歌 旅職のためさあって進んで出版は 書▲それでも除興或は選來の珍絜 のではる論鑑に手を引いたのが が表現した。 のでは、 では、 のでは、 では、 のでは、 では、 のでは、 ので

其香味に贈らぬ適品

「種用大型チューブスン

御管用中形チューブ入一箇金 拾 録値 用 大 形チューブ入一箇金 添拾銀

美しく強い歯に 直ぐと王家の茶を飲むも でと王家の茶を飲むも でと王家の茶を飲むも でと王家の茶を飲むも

ないます かいます かいます かいます かいこと 合理に配合した理想品で、香味優れて態價でするアウ煉細磨の外に粉のミッフ幽磨があります。理想の粉のミッフ幽磨があります理想の粉のミッフ幽磨があります。

のミツワ石絵本語 東京 丸見 昼商店、

にようシーにいるなどにはない





膓チブス 近く

職々苦心して居るが十日より上水 地山附縣地内に然ては最近駅ナブ 射 微智多位の為めその意を整すよっ の軍職を聴聞したき協議をしたが を表情である。 軍隊を慰問

際の送別會際艦に関し艦隊をした及答方館で表を揺き現職日党修甲及各方館で表を揺き現職日党修甲及を方館で表を揺き現職日党修甲 輸組役員會

大連が敵の大公認連いづれる により九郎ゲームにて戦込期日 大連が敵の大公認連いづれる により九郎ゲームにて戦込期日 を表にあったのでいづれる。 ではかったのでいづれる。 ではかったのでいづれる。 ではかったのでいづれる。 一十五日午後五時遊戯完會数に一世 を表にしての歌に多く監在せ の表にある。 大連がかけた。 では、大会 には、大会 にな、大会 にな、たる にな にな、たる にな で先づ此方面では二 機成当能全清陸上競技記録大會最 終日たる五日目は西北風精弾かり とし継定の科目を行つたが五十米 では選手なき参り記録なく四種目

●自玉山往復 郝敬恒(旅二中)二十分一四秒(初後)河野萬治(乃本町)二七、三○(同)山田艦二(旅一中)二八、○二(一数(尹貴級(市))四十十分一四十分一四十分一四十分一四十分一四十分一四十分一四十分 最終日の成績

本では、1 を表して、 大田の歌が、 大田の歌が、 大田のは、 田のは、 田のいは、 田のいは、 田のいは、 田のいは、 田のいは、 田のいは、 田のいは、 田のいは、 田のい 

外交官物語

S

在東京 一 記 者

(五)

が解説知ってるやう。

かった。そして本野が生きてゐると陸軍さ後藤内根の力には静てないが高内を壁に頂

本野さいんば、ロシアの転録を想い出す。配め本野はロシアでは、一本野さいんば、ロシアの転録を

合國の一畳である隣邦に大事と

荷馬車の

趣教百名なも携徐盛大なる記念式 大・年が至十五年以上、際職 大・年が至十五年以上、際職 大・年が至十五年以上、際職

の都は監視の秋日輝く十一 関ちず往々之を逃すものあり済路 楽る十四十五日の職日に取り繋行。 一直の都は監視の秋日輝く十一 関ちず往々之を逃すものあり済路 楽る十四十五日の職日に取り繋行。 一直の都は監視の秋日輝く十一 関ちず往々之を逃すものあり済路 楽る十四十五日の職日に取り繋行。 一直のおは監視の秋日輝く十一 関ちず往々之を逃すものあり済路 楽る十四十五日の職日に取り繋行。 一直の一千二百五十年大法要は急々 「はったいける高祉義等大 「はったいける 「はったいりる 「はったいりる

電民を挑談人長春聖徳會はさきに日本 協画が上場する計畫で工事中のさ 場画を上場する計畫で工事中のさ 場画を上場する計畫で工事中のさ が探信して披露を行った。脚

織をつくけ今日に至つてゐるがそ **證券への貸出** 

五相常

伊集院は薩摩タイプの一種の歌

滿州日報七五題年紀念 文毒世

を付十一日午後七時より同協會に 新十一時より公會堂に三百五十餘 をの會量にが認識の結果明十五日午 はなる要集協議の結果明十五日午 はなる要集協議の結果明十五日午 はなるを要し、一個のでは、 はない、 はない はない、 はない、 はない はない、 はない、 はない はない、 はない、 はない、 はない、 はな あす盛大に學式 

軍隊には

春

廉價で賣る

第一回總會がける開催 第一回總會がける開催

出資者に對する通知が顧る珍、先一ある

念することは頗る有意義の

十月

買業協會

泥棒も影を潜む

店

佟縣長送別會

又を膨し壁、元語はは 翻りを 十名と 中名と では 計画 は 一名と では 計画 では 計画 では 十名と では 一名と では 一名と では 一名と では 一名と 一次 では 一次 では

ておいたのであるから、際にさつ

一ででない、ちょうでは、生来もご使になってしまったが、あれか泉がもうでは、なってしまったろう。様をでは、なが、あれか泉がもうでは、ながなっている。

た異にも組合員全部に對し積立を なさしむるこさは那か困難でもあ なさしむるこさは那か困難でもあ

も有力に なさしむる

合理ではないかさの意見

会では今回東生會から変附を受く から緊急役員會を開催したが同組 がら緊急役員會を開催したが同組

兒童デ

間は小質場も配く を を は は たので 同會社 と で 家 成式

さ思ったが、表面は何事もないよ

此のあだな報はれば死んでも死れ

在りかたさがし、ならわまでもいやいや、せめて仇敵の驚の気

課**店** 市内目拔の場所 佐 名

婦木丈太郎 電話四六九二番 電話四六九二番

盛大に擧行

輸組役員會

公主嶺

小賣市

坂元巡查の盡力で

得利寺の平和境

の見送りからけて計既に を整合であった、風に後膝とは地方事務所長 に要さして阿比智髄業係長、警察 を変することに終歴を確したで表別を は地方のは地方事務所長 にを騒長の謝齢がありて観る を変するった、風に後膝を をいる。 にを駆したが、 をいる。 にのは、 にの

滿紡庭球納會滿洲紡織

華語獎勵

公主盛の補

結婚披露

娘は少しも酒がいけず、小さいの

**五六杯やれば酔ってしまふで** 

成市民の益する處

夜\*日務県は今時代 ・日務県は今時代の ・日務県の ・日務県の ・日務県の ・日本民政立 ・日本民政

本郷の東京 大の郷野で同盟を 大の郷野で同盟事 の東京の東京 大の郷野で同盟事 では、 大の郷野で同盟事 では、 大の郷野で同盟事

二十年記念

五

一批港の

碎冰船

營

了冬試驗的使用

雄辯大會

で 武出しは三千国まで、あるさ に 滿銀株及び正隆、戦艇株に随られ に 満銀株及び正隆、戦艇株に随られ の 三段一厘で膣宛は溝銀株脆窓管物 に 満銀株及び正隆、戦艇株に随られ の 三段一厘でといった。 関に利子は の 三段一厘でといった。 関に利子は の 三段一厘でといった。 関に利子は の 三段一厘でといった。 関に利子は の 三段一厘でといった。 関いる でいった。 の に 利子は の こと、 の に 利子は の こと、 の に 利子は

で書いてある、まるで興行扱いだ 、入場祭

15A 計 12

マス 死老

工程局會議にて決定

注目される結果如何

能され左記の繋ぶあり十時盛會神 に然て必供必年感の鍵線大會が開 に然て必供必年感の鍵線大會が開

小學校の

金額は現金ではない出資金で之本になり本年の運輸保に利子を支掘って利用せよ其 る様になったののの期間サケ年大抵のの者は利子で 二日午前九時より人家ではある

(1+1)

**夾** 朝 酱

母 全社の經營に移った際日に指案するので朝倉の際式を駆げ経験がれ満載 から一場の訓話かなすさ

金がぶつ飛ぶ機な業は感心仕らぬ に用するのが監察、种子取って元 に用するのが監察、种子取って元

た程で登巻のさ

程にこにこしながら、娘の室にや其の日の夕が、嫂は薄氣味難い

中の財産機でなる境等して行くつかのであるが、震が心よく大百五十のであるが、震が心よく大百五十のでは、それは一時にいつさらつて行く非、ついでに家

一次の無概をまで、まだそのま、 だばざうして居るだらうの 歌歌

第や脱誠を迎へに四ばへ行こう

おれの連らよう極はまつた。死

大黒町一一六電二二六〇二宮坂の野致します

等完全買三八個、電六四七級

計る者が計られ

「毎日あなたも選屈でせう。

もりであったのである。

樹附駅地域西美胡殿山(こ)十二 賭博で捕はる 

陽區員澤井港氏の女好シゲ子嶼Cを 選井家の不幸 就房店機 日午後二時半病難まりて死去したとはかれて病氣中であったが十一

たさ、因に宿營前より市場內各質になるの際定小質値改表を据した。因に宿營前より市場內各質

公會堂設備成り

映畵の夕で賑ふ

十日十一日兩日の盛況

興華樂園披露 つたので同会では公会堂願きさし に使って本年の試合は終決される兵舎を公会堂に吹裝し諸睦備も終 簡単讃飯し愈く總称黙認之の決戦子振された歌地居館民会では一部の 子順は去る二十八日六點五で城子完命除骸逃さ共に兵舎の管理を委 は不戦一勝の天駅に乗り覧楽黙疲

院軍情殿し歴々機務禁買製の決職

赞納線で元貴節

称合理化の窓を搬事 満郷事務

それから二人は飲み出したので おったいから二人は飲み出したので

女中

[ Jaking

さあるからいくらのん

の大連に向った。 四十分發列車で本

で野芸伝は膨脹機能

夜の間でも高れ、他の床の上でいた杯で乾杯をしたので、しまひ、重大なその

ささは知らの嫂は盛ん

・ 古林街二十六號 の一十六號 の部盤の要をかいたことを心中によろこび、兄夫婦の室に忍び、競大婦の室に忍び、競大婦の室に忍び、競

いさして谷方面に

温力したが

は渡らいです。ため、明日のたつきになり振び、明日のたつきに全家産を先つたがら、一日は渡らいです。ため、明日のたつきにも困るので家屋家具を三百七十周のたつきになり、

東鐡の電話なる 電話は全部支那市 であるであ 観さ支帯側代表 関 東鐵電 哈 電話局の管下に関する 話移管 剛濱 

兄女魁はうまくい

召使の獲者をさいて聞いて見る の始末、妻の召使の の始末、妻の召使の 女中 人用月給廿圓以上相談了 源速附一丁目 石田洋行 源速附一丁目 石田洋行 市工工工 島 龍田町一二三 島 女中 

一 なが、二三十人穏の人が來て、敷 門を開けておいたら、膝だか知ら 門を開けておいたら、膝だか知ら 女がはさては一杯喰はされ、白のを持つていってしまったと言ふ。 女給 敷名至急入用 電ニニー七〇番 女給四五名至急入用総遇する場所が出来の場合の で急入用 で急入用 で急入用 で急入用 ーベー 金庫 間記式手提金庫日、支、山形洋行電三〇一五・八六八八 古着 古道具高質買入 フョ

ウ品間質受 電七四三五

貸衣 装

濟生醫院

一電師され

まや電六六〇一番

賞完備賃出五四矢代電四八一 道完備賃出五四矢代電四八一 第一次 初音町二階建海向十、 第一次 2 二国斯風呂 第一次 2 三間風呂 邦文 タイピスト短期養成 外連市大山通 小林又七支店 所添 婦並浸遺家 春月町 新郷 海洲托兒所 英語 職會話職譯文案起 信用 小口総密に個用立致しまた直流で生れる 金融資質は何んさ言つて 金融資質は何んさ言つて 金融資質は何んさ言つて 金融資質は何んさ言つて できれる 小口 信用貸留手輕個用立数し を持断一九七 吉田電五〇一三 を持断一九七 吉田電五〇一三 を持断一九七 吉田電五〇一三 金龍 號生命保險證券に限り金 カ五 永島電ニー六七八 対安く最も永く 大連市漢路町 大連市漢路町

別府治洲

夜が明けた。 、跡自復さなつて 外交 員マスタ煙筒販賣員 水用 8手入連在作者にて優秀 水人來談 派連明一丁目 石田洋行 被雇 繁城町福田屋金物店電三七〇四 女中 數名入用 何業を不問を卒業 無式 慢中に家庭向應用の生渡 ・ 大連案内社 ・ 大連案内社 ・ 大連案内社 ・ 大連案内社 ・ 大連案内社 ・ 大連案内社

・ チ ス パタークリーム 電話四五三七番 電話四五三七番 電話四五三七番 電話四五三七番 電話四五三七番 電話四五三七番 電話四五三七番 電話四五三七番 作乳 パタークリーム 天津 ボーズ 天榮堂 牧場 電話六一三四番 16

内科性病内科性病

御一根交易参上班であず 洋服類薔裳 新後屋留店

専門のヤナギャへ

男子は後五日真高く上品差上

中書 邦次タイプライター 自動 ・ 電話パ四七一番 ・ 電話パ四七一番 御一報画に新春日町

がいない。それからからからない。 変いの室中かさがら

姓名在社位

金三拾銭増

白帆

島田 に限る は は

天帆高級純生漉お使紙は

電話五四三九番

妻の首解り衣服の類

らのは家中のもの

番です

れる感動して幅にかれたくと弦像の段

まめからく、

日案内

不用 品親切本位買受 常茂町渡邊瀬天 電六八四一番

んさ飲んだっさって

ありかを捜でうて決心するのであなごと自戦自答の末、せめてこの

蕃音器 報音に愛上致じます。

美羅町五七世話二一八六六 韓賀迅速巌道

議津町八一 赤羽 電五〇一九 振津町八一 赤羽 電五〇一九 振津町八一 赤羽 電五〇一九

電話七八九三番へ

楽はヒシカワ悪局

鈴木丈太郎 電話四六九二番

2

モミ 原治御望みの方は 家佐野お公の郷ハリ炎専門保院 退常整措選述革権
白尾糸江
の神経衛により

はが、乳、兄。 角質リの側用膜に連じます 重要 浅、野・酵・子・ 素を 大連市美濃町五七番地 ・

商品 電話三〇四九番

生活の

新文 食家八、六、六、三風泉 東州なシケ東 電四〇〇〇 東州なシケ東 電四〇〇〇 東州なシケ東 電四〇〇〇 東州なシケ東 電四〇〇〇

自分の非行が、走即燈の際に思いてん底に行きつまるさ、今までの

医公園町六九 電話八二〇三番

大運新四六九二番

(日曜火)

價藥

一五三二 十十十 圓錢錢錢

アット云ふ間にスク

或種猛獸の膽汁中有効成分が膓胃の機能促進上缺くべからざる靈劑たるここは最近治療 界の新學説こして重きをなせる所で自在堂藥化學研究所ではこゝに留意し研究多 年斯學の權威藥物學博士石津利作先生の發見にかゝるガマイン成分含有物 を加へて臓器療法を完成し得た、人物印腹痛トンプク即ち之である。 腹痛トンプクは胃中に入るや直ちに溶解吸收されて著大の鎮 痛作用を起し特異の効力を以て腸内の毒素、異性物を 驅逐消滅するここ神の如く如何なる腹痛でも本 劑一回の頓服で忽ち治癒すべく家庭常備

サンタリンは東印度及びマレー群島に産する白檀科の植物より抽出した 主要成分及び南米諸島に産する決明科の諸種の植物より抽出した主要成 分を最も合理的に結合したもので之を内服すれば直に膓粘膜に吸收せら 自在堂藥化學研究所長藥劑師西野信一氏が創案にかゝる治淋内服最新藥 疾患に對し殺菌、鎮痛、消炎の効本劑の右に出づるものなき優秀の作用 れ腎臓を經て膀胱に至りこゝに於て一種の化學的分解作用を港し强烈な る殺菌液を變じて尿と共に排泄せられる故に理想的治療劑として淋毒性 價

大阪市東區高麗橋一丁目

薬こして旅行携帶薬こして缺くべ

からざる敷急薬である。

掘替大阪一五七番電話本局國三九三番

**日本賣藥株式會社** 

けなし丸本舗 自

して自在に適應疾患に應用し得られる。

を發揮するのみならず斷じて副作用を起す虞れがないから各自心を安ん

本 そして四年度の総出産数は三千九年十五名で五人数に一人づゝ生んだ。 中期の機出生数は一人づゝ生んだ。 では最級はどうかさいふに女性の で出産数はどうかさいふに女性の で出産数はどうかさいふに女性の で出産数はどうかさいふに女性の で出産数はどうかさいふに女性の で出産数はどうかさいふに女性の で出産数はどうかさいふに女性の で出産数はどうかさいふに女性の で出産数はどうかさいふに女性の

聖上御聽講

言葉はまた女の人にもそのまゝあ

が決して理由のないものでない

これは隣壁社覧がおくまた親兄宗 に多いこさにもよるであらうが、 に多いこさにもよるであらうが、

等を故郷に変してあるものが 服告 これは崩壊社覧が若くまた親死祭 これは崩壊社覧が若くまた親死祭

男は廿九歳、女は廿七歳の時

一次の総部は人間の出産期を確覧に 東はすものさは言べないが相常値 のはい数字を記してゐる、滿鍵で家

現である、それから緩い下り振て八名と朦朧し甘九歳の百十名が經

大いに産みまく

ばん

るこの喜ばしい出産率に對しては といい出産率に對しては

六、七)さなつてゐる

の手入に忙

中央公園事務所で

日康職意財航空を開始したき希望の三機を開酵せんさ計画を有し足し

その趣旨

宮御所に成らせられ陛下に御黙畝機の一日を御城に御畹蒙静京以來続めて墓太后陛下に御黙戩、午後一時孝宮織も大九時五十分宮城御出門大宮御所に御伺候那須御用邸より御【東京十二日登電通】照宮成子内親王殿下には十二日午前

御祖母陛下に御對面

秋の一日を大宮御所にて

# 日

會社ルフト、ハンザは近き でスクワ、オムスク

ス、伊製、哈密、英コンスタンチノーブ

**内内親王さまが** 

**沓港まで日本が擔當** 

福 原 縣院 長 愈は隠退か 下馬評 早くも後任の

齊內稻名前飯古福山立西

野家で大連チーム殿下の不利さカ競HB 大連チーム殿下の不利さカ競HB 〇、大連軍敗る 藤田 東 下W ライダー ドW ライダー ルーシュ ナイシンマン ロアンソンマン ファンシュマン ファンファン スミス スックス ヘエイマン

一て早くも下馬評にのぼつてあるの 一 ですくも下馬評にのぼつてあるの

日英ア式戦

五

て安藤(土散)中村後二時六分より工

工事野大俱ラグビ

については調査中であるが<br />

日本各地名産

珍

大阪屋號分店

辨天堂主風呂崎

住友王國も

減給の悲哀

チキンライスの素 ハムライスの素 ハムライスの素

即おっ大阪や小京 京 京 で、大阪特選の の 名 産 で、名 産

Ħ

明春から實施

た、中心一等学は目下加索中明さなつたが午前六時職く發

水鳴がれなりなり

三十六州〇で惨吸

## 大連延波中の英海洋艦カンパーラ とれたが前ಳ力装飾かに一駆を得 では十二日午後四時冊分より大連運 は十二日午後四時冊分より大連運 では十二日午後四時冊分より大連運 では、オルト(塩割)タイルブ 禁動して、オルト(塩割)タイルブ 禁動して、オルト(塩割)タイルブ 禁動して、オルト(塩割)タイルブ 禁動して、オルト(塩割)タイルブ 禁動して、オルト(塩割)の下に繋行 を持ちまする。 條約の成立を 000大連

口

來る十七日、國際放送に先つて 我國民口報告

原文学、本内徽書記官長さの間に指令セ中である

原文学・大内徽書記官長さの間に指令セ中である

原文学・大内徽書記官長さの間に指令セ中である

原文学・大内徽書記官長さの間に指令セ中である

原文学・大内徽書記官長さの間に指令セ中である

原文学・大内徽書記官長さの間に指令セ中である

原文学・大内徽書記官長さの間に指令セ中である

桑道高點試合

四百名の勇士が

壯烈な爭覇

十二日旅順振武館に於ける

南滿武道大會の盛況

個人三番試合<br />
三酸以下) 

無段者二 一等消井正

○ 本二時者、高橋、優本(驅 内黑新立木橋有編 野(旅警)平山(旅警)津上(工 野(旅警)平山(旅警)津上(工 所) 由田城上吹道田田 田城上吹道田田 田城上吹道田田

九對七明大

電東京十二日餐電通』早明野職二 場に球骸三宅、墨翫藤田、新田早 大光窓にて獣炉県軍猛跳な抄驟戦 大光窓にて獣炉県軍猛跳な抄驟戦 大場に球骸三宅、墨翫藤田、新田早 か渡ど綿扇九踏七で早大再騰附戦 四時三十二分、バッテリー早天惠の時三十二分、バッテリー早天惠

明大1000130014 9 回数一二三四五六十八九合計 の100013 7 支那紙幣 偽造犯人 長崎へ護送さる

『京城十二日餐電通』朝鮮神殿野旅蔵智の最後を飾る晴れの大観地上には風車の構態三萬が過ぐる三日間鳥をもつかね醍醐に変れり見せで偉躯を翻る職麼さばにまみれて一大信道をなせば大空をも見せで偉躯を翻る職麼さばにまみれて一大信道をなせば大空をもあて我軍威力の空中大分別式に地上さ空橋呼騰して戸山軍樂跡があるである「國を守る處」の大谷進曲は朝鮮空前の盛馳を呈したの奏でる「國を守る處」の大谷進曲は朝鮮空前の盛馳を呈したの奏でる「國を守る處」の大谷進曲は朝鮮空前の盛馳を呈したの奏でる「國を守る處」の大谷進曲は朝鮮空前の盛馳を呈したの奏でる「國を守る處」の大谷進曲は朝鮮空前の盛馳を呈した。 龍山練兵場頭 空前の大觀兵式 兩宮様の台臨を仰ぎ

長安見て天津領事館野祭権解題者

て同様を計さないものであるこ な前の様な無数前者は突旋に不適 は前の様な無数前者は突旋に不適

重縣視察團歡迎

官增派

天津總領事館から を嚴重にするため

天津縄領軍論 成を厳にするの要あ るより警 観を呈してゐるが、

先頭より標

事軍振び れたが大俱軍 百日(線電) 吸は十二日午 人倶慘敗す 十二日のラグビー戦 戦のあと」で歌のカンで表の方とは一次である。 廉事 さはこの試合終了

經過



太 小 林 大 藥 大社 大阪市京町城 振替 大阪市京町城 振替 大阪市

四小村大郭房

連鎖商店街に靴と履物の店

確實なる製品をモットーとして

價格もお客様の御滿足を願ふ樣

に努力して居ります

TANK TO THE TANK THE

界各國

酒類

食料品

東京風菓子謹製

工歌ラグビー、大勝の美心に酔は の満洲代表チームと目されて居る の満洲代表チームと目されて居る 標準されんここを場に希望する 時手管(月給の一割具管)を破場手管(月給の一割具管)を破り のに新してに戦争中より、二等 による一等社員(百五十一国以 にまる一等社員(百五十一国以

同棲の 説諭願 無學の妻から

岡 糸 電七二〇〇番

入荷







梶田 小兒科醫院 越後町岩狹町角電六七五〇

寫眞機械特別廉四

經過

四段以上(三本試合)

0000000000

能なより離れた同職隊第十中隊 をいると突然養職と るものあり中胎一等卒は右大腰 ものあり中胎一等卒は右大腰 を接してゐると突然養職と なしてゐると突然養職と

第卅三職隊が柳條満附近で影響中二時三十分頃秋季渡署のため歩兵

にして同人等は大阪にて支那 既行紙幣+元四千枚を修選し 取行紙幣+元四千枚を修選し

の際番見されたものである 演習兵奇禍 何者か狙撃し

いんきん

(松下製六〇ワット)

絕對安心・便利で經濟 お好みの温度に自由に加減出來る デンキコタ 武回月賦

表電話改番五一一一番 にんしん接腹

二人が同じやうな銀の数にシュ

たい細になれた。

なかったやうに、東野の機合ひか ち選野の腕に抗婚した。

さ、京子は総に泉鴨の自由がな

って、魔草の燃りを織りて天井へ

ぜんもの……よろしく御願ひしま

き、その時、酸び朦胧を上つて

京子の際に光つた暖かい懐愛。二

**滿日柳壇** 

一出一

接職をする。こんな嫌忘になって、これな嫌忘になって、これなり、いている。

古棒 伏 墓 中でせらさ流く子を裏に持つて

でも、いつかなんか、いつそ身を難してあらゆる寒性に難して、 後襲してやりたいさ思ひましたけ で、今又かうして重野さんからそ

國際運輸做大速支店

を食は枕にすだく虫を贈き 大連 イ る 夫 他の無押へつぶして人さなり 中の領跡へば落人二三人 中の宿跡へば落人二三人 中の宿跡へば落人二三人 中の宿跡へば落人二三人 中の宿跡へば落人二三人 中の宿跡へば落人二三人 中の宿跡へば落人二三人 中の宿跡へば落人二三人

x 光線 ホネッキ

電路 德德

日勝を害され

方複グロジン

CONTRACTOR CONTRACTOR

「なあーに?」
「あの、京子さんに、ピールを持って来てって云って下さい」
するさ、不二子は、凝野の言楽
するさ、不二子は、凝野の言楽 おいよのは、こ、の會見が最初 そして、水が存み終へるこ、所姿 をして、水が存み終へるこ、所姿

てくれるさいふ規定になってある 水が、この食鼠の全傷、落ち付く 水が、この食鼠の全傷、落ち付く 来の虫やたちに痛えて行詰り 虫干に妻の臍くりころげ出し 虫干に妻の臍くりころげ出し 鬼の音に軽入りかれたるお茶ツ 鬼・一が酒の小音を繰返し 鬼・一が酒の小音を繰返し

一正の南京東に座が崩れ 中のいゝ註文の出る一人ツ兒 東郷が得本でもの音・寸止み が変響を引ふごさく東の磐 東端店 登 志 期 まく見れば虫をこわがる額でな よく見れば虫をこわがる額でな

近寨都蜡牌式會批大連代學店 朝鮮鄉縣東京會批大連代學店 朝鮮鄉縣東京會批大連代學店 日本 式會加大 連 出 張 所 大連市山縣運電話 七八四六番 大連市山縣運電話 七八四六番

取扱 店 九 二 前 會 票屬客礦 九 二 前 會 幽帆

三百四十餘 醫學博士により

秀なる製剤なりと推奨さる。

の減退・心身の疲勞・衰弱の恢復には必増し榮養を補ひ、新陳代謝を佳良にし、増し榮養を補ひ、新陳代謝を佳良にし、

五〇〇瓦 (四個五十艘) 五〇〇瓦 (四個五十艘)

ず用ひらるべき補血 滋養 强壯劑です。

腺病質産後に必適す。

器家報告書進呈す。

榮養不良

肺結核

● 東、神戸、横濱行 松江丸 吉大山 ●背馬上寨行 長春丸 十月十五日 一天津 沒鄉 行 天朝丸 古左島十四 天津 沒鄉 行 天朝丸 古左島十四 天津 沒鄉 紅 天朝丸 古左島十四 天津 沒明 東 五 古 大島一時 天津 沒明 東 五 古 上島一時 大連九 古左島一時 大連九 古左島一時 大連九 古左島一時 大連九 古左島一時

一件木真

°°°

十月古山樊昭

(A)

閣を泳ぐ者(五)

でせうが……」 でせうが……」 「でせうが……」 人の印画意志によるが)その會戦 大の印画意志によるが)その會戦

息づまる傾がさり発く虫の息 中の壁モボコモがには趣味はな 中の壁モボコモがには趣味はな



神経衰弱ノ症状 根本的治 根本的治療ハ

常二不安ノ念ニ襲ハレ、物事ニ俗 なシ易ク、精神ノ地緩、疲勞、志 をデールに憶力ノを一、明痛、東土 を量、便秘ノ頻優、食然ノ不進、 を発生、自教スル様ノ事をアル。 など、自教スル様ノ事をアル。 ラ圖リ、適當ノ運動ラ行と、早起 リ、心身ノ過等ヲ避ケテ心機轉換 リ、必身ノ過等ヲ避ケテ心機轉換 リ、適當ノ運動ラ行と、早起 絶大ノ偉効アル張騰楽「健腦丸」ヲ智衰ヲ勵行シ、然シラ楽餌トシラ 最も適確ナル治療方法デアル。服薬スルコトガ、簡易ニシラ且ツ

新聞の配達上の御用命は『电子門(夜間及休日)ニーニー四番

りの減退、心身の衰弱に

製造元 大阪市郷上町 大阪市道修町 大五變藥株式會批 製武田長兵衛商店

强腦藥『健腦丸』